

平成28年熊本地震にかか アンケート調査 報告書

【期 間】平成28年9月28日～10月17日
【対象者】2,000世帯
【回答数】1,093世帯
【回答率】54.7%

		送付数	送付割合	回答数	回答割合	り災証明 発行割合
	全壊	106	5.3%	67	6.1%	5.2%
	大規模半壊	136	6.8%	92	8.4%	8.0%
	半壊	527	26.3%	321	29.4%	29.1%
	一部損壊	1,231	61.6%	601	55.0%	57.7%
	無回答			12	1.1%	
	合計	2,000	100%	1,093	100%	100%

り災証明発行割合は、9月30日時点における割合

(参考) 9月30日時点のり災証明発行数 104,894件

平成28年12月
熊 本 市 政 策 局

目 次

調査概要	1
1 趣旨	1
2 調査対象者及び調査数	1
3 調査方法	1
4 回収率	1
5 主な回答の結果について	1
ご自身（回答者様）のことについて	5
問1 あなたの性別を教えてください。	5
問2 あなたの年齢を教えてください。	5
問3 あなたの現在の職業を教えてください。	6
問4 現在の世帯全員の合計年収を教えてください。	6
問5 被災時の世帯人数を教えてください。	6
問6 被災時のお住まいの区はどちらですか。	7
被災状況について	8
問7 被災時に住んでいた住居について教えてください。	8
問8 住居のり災の程度を教えてください。	8
問9 宅地の被害状況を教えてください。	9
問6・問9のクロス集計	10
問10 宅地の被害の状況はどの程度でしたか？	11
問11 家財の被害状況を教えてください。	12
問12 現在のお住まいのところ（または居るところ） について教えてください。	12
問8・問12のクロス集計	13
問13 現在住んでいる住居について教えてください。	14
問12・13のクロス集計	15
問14 将来的には元の住所に戻って住む予定ですか。	16
問2・問14のクロス集計	16
問7・問14のクロス集計	17
問15 理由は何ですか。	18
健康状態について	19
問16 あなたやご家族の健康状態で当てはまるものがありますか。	19
問17 かかりつけの医療機関や相談先はありますか。	20
今後のお住まいについて	20
問18 住宅の再建状況を教えてください。	20
問2・問18のクロス集計	21
問8・問18のクロス集計	22
問9・問18のクロス集計	23
問19 住宅再建のめどが立たない理由（課題）は何ですか。	24
問20 建替え、補修、住み替え等に要する資金の財源は何ですか。	25
問20・問23のクロス集計	26

問 2 1	田畑や住居以外の土地等を所有していますか。また、それらの不動産を売却し住宅再建の資金に充てる意思はありますか。	27
問 1 8・問 2 1	のクロス集計	28
問 2 2	住宅再建で希望する居住形態は何ですか。 (既に住宅再建が済んでいる場合は現在の居住形態)	29
問 2 3	補修や建設・購入を行った方、または検討中の方にお尋ねします。 補修や建設にかかった費用、もしくは見積もり費用はどれくらい ですか。	30
問 8・問 2 3	のクロス集計	31
公的支援制度の利用状況		32
問 2 4	下記の支援制度の中で、知っている支援制度は「知っている」欄に を記載してください。	32
問 2 5	上記の支援制度については、どのようにして知りましたか。	33
問 2 6	公的な支援以外の支援等がありましたか。	34
今後必要な支援について		35
問 2 7	住宅の再建に必要な支援は何ですか。	35
問 2 8	住宅再建以外で震災以前の生活に戻るのに必要な支援や対応は何 ですか。	36
その他自由意見		37

【調査概要】

1 趣旨

発災後5ヶ月が経過し、各々の被災者においては、仮設住宅(みなし仮設を含む。以下同じ。)への入居や、被災住宅の補修・再建などの生活再建・住宅再建についてある程度の目途が立ち始めた時期ではないかと思われる。

しかしながら、被災者のこうした意向や、現在の居住実態、再建に向けての課題等については、データとして十分に把握できていない。

そこで、被災者台帳を元に下記のとおり被災者へのアンケート調査を実施し、再建の進捗状況や再建の課題等を把握することで、今後の支援策を検討するための資料とする。

2 調査対象者及び調査数

【調査対象者】 被災証明書発行者(一部損壊を含めた全ての被災区分) 回答者は世帯主又は生計維持者

【調査数】 2,000世帯(上記対象者から無作為抽出)

内訳：(全壊106(5.3%)、大規模半壊136(6.8%)、半壊527(26.3%)、一部損壊1,231(61.6%))

3 調査方法

郵送による調査票の配布・回収

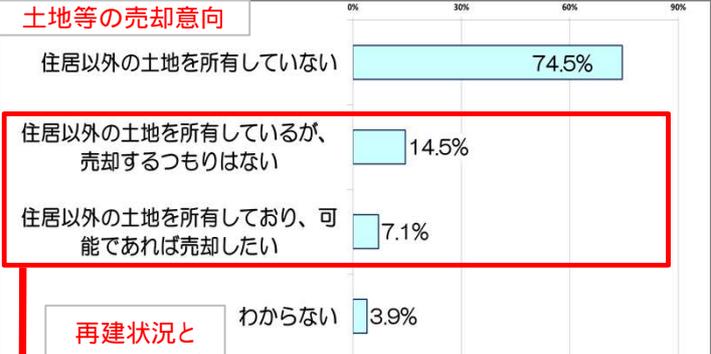
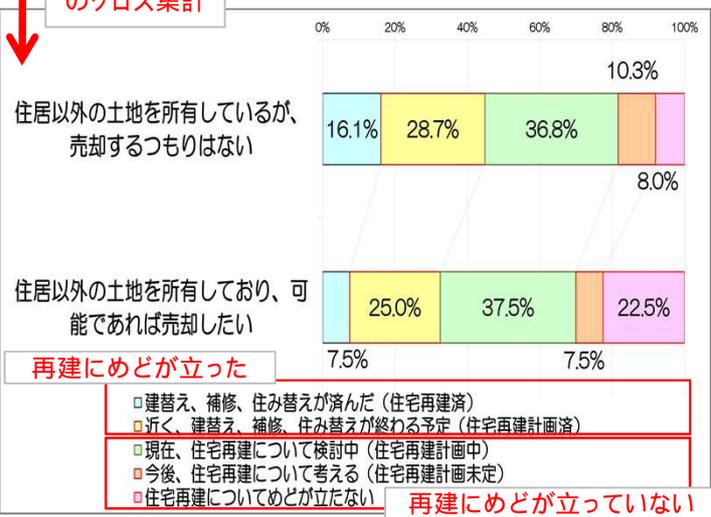
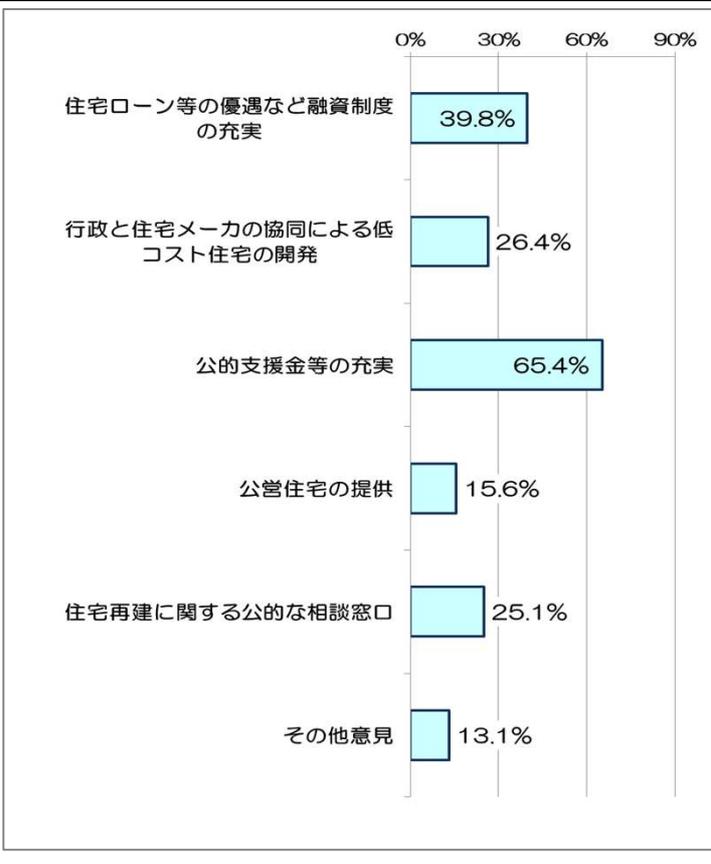
4 回収率

54.7%(1,093世帯)

5 主な回答の結果について

調査項目	回答状況	分析																		
被災区分と住宅の再建費用の相関関係 (問8・問23のクロス集計)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平均金額(万円)</th> <th>100万円超割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一部損壊</td> <td>68</td> <td>13.5%</td> </tr> <tr> <td>半壊</td> <td>842</td> <td>32.1%</td> </tr> <tr> <td>大規模半壊</td> <td>1,784</td> <td>36.9%</td> </tr> <tr> <td>全壊</td> <td>1,219</td> <td>22.4%</td> </tr> <tr> <td>全体合計</td> <td>385</td> <td>21.5%</td> </tr> </tbody> </table>		平均金額(万円)	100万円超割合	一部損壊	68	13.5%	半壊	842	32.1%	大規模半壊	1,784	36.9%	全壊	1,219	22.4%	全体合計	385	21.5%	<p>費用の平均額は、被害の程度が大きくなるほど高い。(全壊については、母数が小さい上に、無回答の割合が高かったため大規模半壊の平均額を下回っていると思われる。)</p> <p>100万円超と回答した割合は、被害の程度に比例している。</p>
	平均金額(万円)	100万円超割合																		
一部損壊	68	13.5%																		
半壊	842	32.1%																		
大規模半壊	1,784	36.9%																		
全壊	1,219	22.4%																		
全体合計	385	21.5%																		
被災者の住宅再建の進捗状況 (問18)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>進捗状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建替え、補修、住み替えが済んだ(住宅再建済)</td> <td>11.5%</td> </tr> <tr> <td>近く、建替え、補修、住み替えが終わる予定(住宅再建計画済)</td> <td>17.4%</td> </tr> <tr> <td>現在、住宅再建について検討中(住宅再建計画中)</td> <td>22.0%</td> </tr> <tr> <td>今後、住宅再建について考える(住宅再建計画未定)</td> <td>7.5%</td> </tr> <tr> <td>住宅再建についてめどが立たない</td> <td>11.6%</td> </tr> <tr> <td>住宅に被害はなく(小さく)、住宅再建の必要はない</td> <td>30.0%</td> </tr> </tbody> </table>	進捗状況	割合	建替え、補修、住み替えが済んだ(住宅再建済)	11.5%	近く、建替え、補修、住み替えが終わる予定(住宅再建計画済)	17.4%	現在、住宅再建について検討中(住宅再建計画中)	22.0%	今後、住宅再建について考える(住宅再建計画未定)	7.5%	住宅再建についてめどが立たない	11.6%	住宅に被害はなく(小さく)、住宅再建の必要はない	30.0%	<p>住宅再建にめどが立った世帯は28.9%、計画中や計画未定を含め、未だめどが立っていない世帯が41.1%であり、住宅再建が進んでいない。</p>				
進捗状況	割合																			
建替え、補修、住み替えが済んだ(住宅再建済)	11.5%																			
近く、建替え、補修、住み替えが終わる予定(住宅再建計画済)	17.4%																			
現在、住宅再建について検討中(住宅再建計画中)	22.0%																			
今後、住宅再建について考える(住宅再建計画未定)	7.5%																			
住宅再建についてめどが立たない	11.6%																			
住宅に被害はなく(小さく)、住宅再建の必要はない	30.0%																			

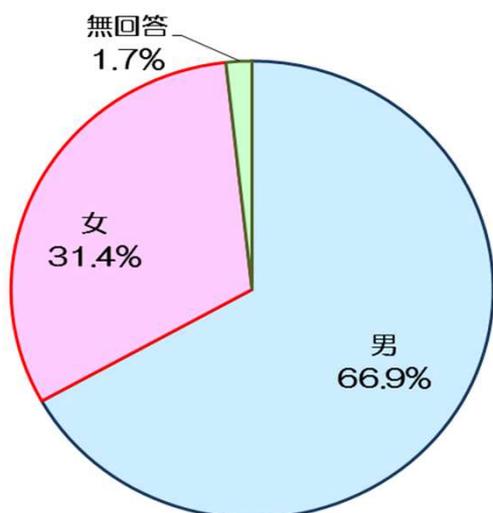
調査項目	回答状況	分析
住宅再建のめどが立たない要因 (問19 複数回答可)	<p>経済的理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅再建に必要な資金が不足するから 63.8% 住宅再建に必要な融資が受けられないから 16.2% 現在も住宅ローンを支払い中だから 10.5% 転居（子どもの転校や通勤時間など）に不安があるから 3.8% 相談相手がないなど 12.4% 将来設計が不透明で再建方法を判断できないから 29.5% その他 26.7% 	<p>資金不足や融資が受けられないなどの経済的理由が多い。</p> <p>相談相手がない、再建方法を判断できないなどの理由が多い。</p> <p>【その他の意見】 住宅再建が遅れている原因に、業者不足、家屋解体の遅れ、マンション問題などの意見があった。</p>
宅地被害の有無や状況 (問9 複数回答可)	<p>宅地被害あり</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし 42.6% 液状化があった 5.8% よう壁の崩落があった 37.4% 地割れがあった 26.3% その他 5.7% 	<p>約6割が何らかの宅地被害があったと回答している。</p>
再建資金の財源及び金融機関等からの借り入れと住宅再建費用との相関関係 (問20(複数回答可)、問20・問23のクロス集計)	<p>再建費用とのクロス集計</p> <p>自己資金（預金等） 56.7%</p> <p>義援金、生活再建支援金、応急修理制度、公費解体等の公的支援制度 42.3%</p> <p>地震保険等の保険金 48.5%</p> <p>金融機関等からの借り入れ（ローン） 16.3%</p> <p>その他 6.9%</p> <p>未定 6.2%</p> <p>500万円より大きい 36.0%</p> <p>50万円～100万円以下 5.8%</p> <p>100万円～300万円以下 8.1%</p> <p>300万円～500万円以下 2.3%</p> <p>わからない 47.7%</p>	<p>「自己資金（預金等）」の回答が56.7%と最も高い。</p> <p>「金融機関等からの借り入れ（ローン）」と回答した割合が16.3%と低い。</p> <p>「金融機関等からの借り入れ（ローン）」と回答した世帯のうち、36.0%の世帯が、住宅の再建費用が「500万より大きい」と回答しており、再建費用が高額なほど借り入れを財源としている。</p>

調査項目	回答状況	分析																		
<p>土地等の売却意向 及び 住宅の再建状況と 土地等の売却意向 の相関関係 (問21、問18・ 問21のクロス集 計)</p>	<p>土地等の売却意向</p>  <table border="1"> <tr> <td>住居以外の土地を所有していない</td> <td>74.5%</td> </tr> <tr> <td>住居以外の土地を所有しているが、売却するつもりはない</td> <td>14.5%</td> </tr> <tr> <td>住居以外の土地を所有しており、可能であれば売却したい</td> <td>7.1%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>3.9%</td> </tr> </table> <p>再建状況とのクロス集計</p>  <table border="1"> <tr> <td>住居以外の土地を所有しているが、売却するつもりはない</td> <td>16.1%</td> <td>28.7%</td> <td>36.8%</td> <td>10.3%</td> </tr> <tr> <td>住居以外の土地を所有しており、可能であれば売却したい</td> <td>25.0%</td> <td>37.5%</td> <td>22.5%</td> <td>8.0%</td> </tr> </table> <p>再建にめどが立った</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 建替え、補修、住み替えが済んだ (住宅再建済) <input type="checkbox"/> 近く、建替え、補修、住み替えが終わる予定 (住宅再建計画済) <input type="checkbox"/> 現在、住宅再建について検討中 (住宅再建計画中) <input type="checkbox"/> 今後、住宅再建について考える (住宅再建計画未定) <input type="checkbox"/> 住宅再建についてめどが立たない <p>再建にめどが立っていない</p>	住居以外の土地を所有していない	74.5%	住居以外の土地を所有しているが、売却するつもりはない	14.5%	住居以外の土地を所有しており、可能であれば売却したい	7.1%	わからない	3.9%	住居以外の土地を所有しているが、売却するつもりはない	16.1%	28.7%	36.8%	10.3%	住居以外の土地を所有しており、可能であれば売却したい	25.0%	37.5%	22.5%	8.0%	<p>土地を売却したいとの回答が、売却するつもりはないという回答の約半数にあたる7.1%あった。</p> <p>売却したいと回答した世帯のうち22.5%が、住宅再建にめどが立っていないと回答しており、住宅再建が行き詰っている。</p>
住居以外の土地を所有していない	74.5%																			
住居以外の土地を所有しているが、売却するつもりはない	14.5%																			
住居以外の土地を所有しており、可能であれば売却したい	7.1%																			
わからない	3.9%																			
住居以外の土地を所有しているが、売却するつもりはない	16.1%	28.7%	36.8%	10.3%																
住居以外の土地を所有しており、可能であれば売却したい	25.0%	37.5%	22.5%	8.0%																
<p>住宅再建に必要な 支援 (問27 複数回答 可)</p>	 <table border="1"> <tr> <td>住宅ローン等の優遇など融資制度の充実</td> <td>39.8%</td> </tr> <tr> <td>行政と住宅メーカーの協同による低コスト住宅の開発</td> <td>26.4%</td> </tr> <tr> <td>公的支援金等の充実</td> <td>65.4%</td> </tr> <tr> <td>公営住宅の提供</td> <td>15.6%</td> </tr> <tr> <td>住宅再建に関する公的な相談窓口</td> <td>25.1%</td> </tr> <tr> <td>その他意見</td> <td>13.1%</td> </tr> </table>	住宅ローン等の優遇など融資制度の充実	39.8%	行政と住宅メーカーの協同による低コスト住宅の開発	26.4%	公的支援金等の充実	65.4%	公営住宅の提供	15.6%	住宅再建に関する公的な相談窓口	25.1%	その他意見	13.1%	<p>公的支援金等の充実以外にも、融資制度の充実や相談窓口、公営住宅の提供を望む割合が高い。</p>						
住宅ローン等の優遇など融資制度の充実	39.8%																			
行政と住宅メーカーの協同による低コスト住宅の開発	26.4%																			
公的支援金等の充実	65.4%																			
公営住宅の提供	15.6%																			
住宅再建に関する公的な相談窓口	25.1%																			
その他意見	13.1%																			

調査項目	回答状況	分析																				
<p>被災世帯（全体）の現在の住居 及び 被災後に転居した世帯の現在の住居 （問13、問12・問13のクロス集計）</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="359 152 730 188">被災世帯（全体）の現在の住居</th> <th data-bbox="730 152 1075 188">転居した世帯の現在の住居</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="359 188 730 293">持ち家（一戸建て） 62.4%</td> <td data-bbox="730 188 1075 293">持ち家（一戸建て） 7.5%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 293 730 398">持ち家（マンション等集合住宅） 13.7%</td> <td data-bbox="730 293 1075 398">持ち家（マンション等集合住宅） 1.7%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 398 730 465">賃貸住宅（一戸建て） 2.5%</td> <td data-bbox="730 398 1075 465">賃貸住宅（一戸建て） 2.3%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 465 730 571">賃貸住宅（マンション等集合住宅） 9.8%</td> <td data-bbox="730 465 1075 571">賃貸住宅（マンション等集合住宅） 33.9%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 571 730 638">公営住宅 1.5%</td> <td data-bbox="730 571 1075 638">公営住宅 3.4%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 638 730 705">家族、親戚、知人の家 3.7%</td> <td data-bbox="730 638 1075 705">家族、親戚、知人の家 19.5%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 705 730 772">みなし仮設住宅 3.4%</td> <td data-bbox="730 705 1075 772">みなし仮設住宅 20.7%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 772 730 840">応急仮設住宅 0.6%</td> <td data-bbox="730 772 1075 840">応急仮設住宅 4.0%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 840 730 907">その他 2.3%</td> <td data-bbox="730 840 1075 907">その他 6.9%</td> </tr> </tbody> </table>	被災世帯（全体）の現在の住居	転居した世帯の現在の住居	持ち家（一戸建て） 62.4%	持ち家（一戸建て） 7.5%	持ち家（マンション等集合住宅） 13.7%	持ち家（マンション等集合住宅） 1.7%	賃貸住宅（一戸建て） 2.5%	賃貸住宅（一戸建て） 2.3%	賃貸住宅（マンション等集合住宅） 9.8%	賃貸住宅（マンション等集合住宅） 33.9%	公営住宅 1.5%	公営住宅 3.4%	家族、親戚、知人の家 3.7%	家族、親戚、知人の家 19.5%	みなし仮設住宅 3.4%	みなし仮設住宅 20.7%	応急仮設住宅 0.6%	応急仮設住宅 4.0%	その他 2.3%	その他 6.9%	<p>被災後に転居した世帯の現在の居住形態では、「<u>家族、親戚、知人の家</u>」及び「<u>その他</u>」と回答した割合が合わせて26.4%と高い。</p>
被災世帯（全体）の現在の住居	転居した世帯の現在の住居																					
持ち家（一戸建て） 62.4%	持ち家（一戸建て） 7.5%																					
持ち家（マンション等集合住宅） 13.7%	持ち家（マンション等集合住宅） 1.7%																					
賃貸住宅（一戸建て） 2.5%	賃貸住宅（一戸建て） 2.3%																					
賃貸住宅（マンション等集合住宅） 9.8%	賃貸住宅（マンション等集合住宅） 33.9%																					
公営住宅 1.5%	公営住宅 3.4%																					
家族、親戚、知人の家 3.7%	家族、親戚、知人の家 19.5%																					
みなし仮設住宅 3.4%	みなし仮設住宅 20.7%																					
応急仮設住宅 0.6%	応急仮設住宅 4.0%																					
その他 2.3%	その他 6.9%																					
<p>健康状態について （問16 複数回答可）</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>健康状態</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>震災前から持病があり、悪化した</td> <td>18.0%</td> </tr> <tr> <td>震災前は特に病気はなかったが、震災後体調が悪くなった</td> <td>18.3%</td> </tr> <tr> <td>介護が必要な状態になった</td> <td>2.1%</td> </tr> <tr> <td>特に問題ない</td> <td>58.5%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7.7%</td> </tr> </tbody> </table>	健康状態	割合	震災前から持病があり、悪化した	18.0%	震災前は特に病気はなかったが、震災後体調が悪くなった	18.3%	介護が必要な状態になった	2.1%	特に問題ない	58.5%	その他	7.7%	<p>「特に問題ない」が最も高い。</p> <p>「<u>震災前は特に病気はなかったが、震災後体調が悪くなった</u>」、「<u>震災前から持病があり、悪化した</u>」も高い割合にあり、震災により体調へ悪影響を与えている。</p> <p>【その他の意見】 精神的なストレス・不安などの意見や子どもが不安がっているなどの意見が多数あった。</p>								
健康状態	割合																					
震災前から持病があり、悪化した	18.0%																					
震災前は特に病気はなかったが、震災後体調が悪くなった	18.3%																					
介護が必要な状態になった	2.1%																					
特に問題ない	58.5%																					
その他	7.7%																					

ご自身（回答者様）のことについて

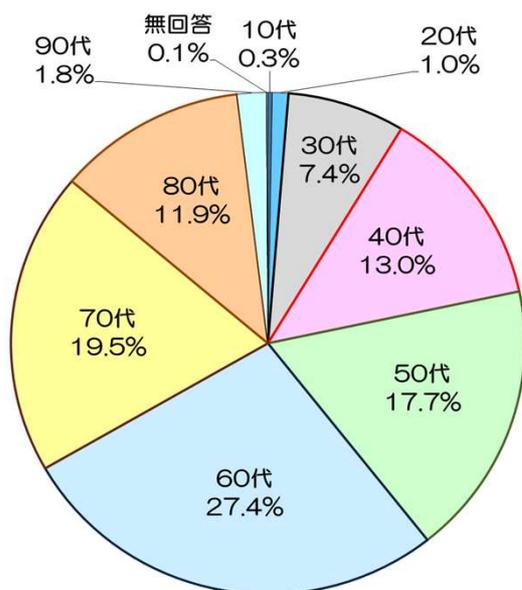
問1 あなたの性別を教えてください。



有効回答内訳（無回答あり）

No	選択肢	回答数	割合 (無回答含)	割合 (無回答除く)
1	男	731	66.9%	68.1%
2	女	343	31.4%	31.9%
	無回答	19	1.7%	
	合計	1,093	100%	100%

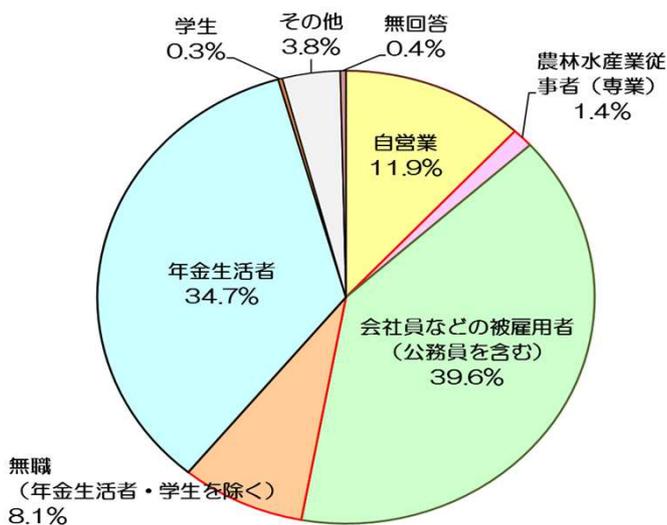
問2 あなたの年齢を教えてください。



有効回答内訳（無回答あり）

No	選択肢	回答数	割合
1	10代	3	0.3%
2	20代	11	1.0%
3	30代	81	7.4%
4	40代	142	13.0%
5	50代	193	17.7%
6	60代	299	27.4%
7	70代	213	19.5%
8	80代	130	11.9%
9	90代	20	1.8%
10	100歳以上	0	0.0%
	無回答	1	0.1%
	合計	1,093	100%

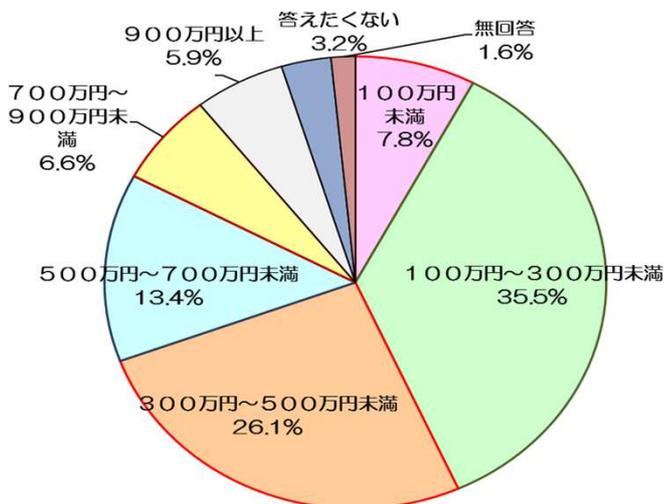
問3 あなたの現在の職業を教えてください。



有効回答内訳（無回答あり）

No	選択肢	回答数	割合
1	自営業	130	11.9%
2	農林水産業従事者（専業）	15	1.4%
3	会社員などの被雇用者（公務員を含む）	433	39.6%
4	無職（年金生活者・学生を除く）	88	8.1%
5	年金生活者	379	34.7%
6	学生	3	0.3%
7	その他	41	3.8%
	無回答	4	0.4%
	合計	1,093	100%

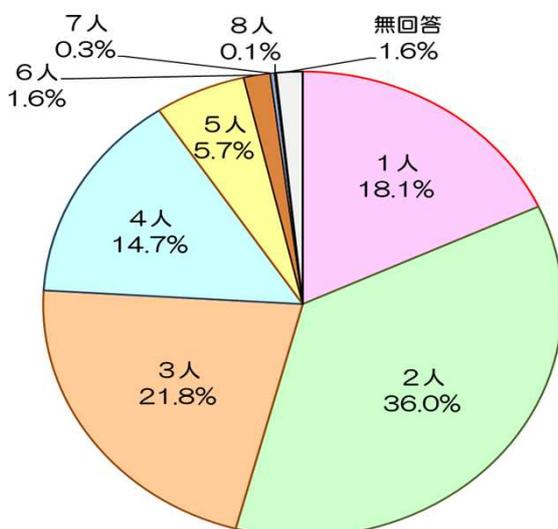
問4 現在の世帯全員の合計年収を教えてください。（見込額・概算額で結構です。）



有効回答内訳（無回答あり）

No	選択肢	回答数	割合
1	100万円未満	85	7.8%
2	100万円～300万円未満	388	35.5%
3	300万円～500万円未満	285	26.1%
4	500万円～700万円未満	147	13.4%
5	700万円～900万円未満	72	6.6%
6	900万円以上	64	5.9%
7	答えたくない	35	3.2%
	無回答	17	1.6%
	合計	1,093	100%

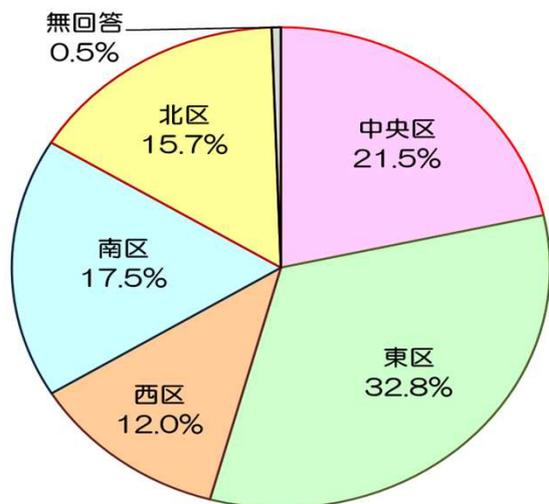
問5 被災時の世帯人数を教えてください。



有効回答内訳（無回答あり）

No	人数	回答数	割合
1	1人	198	18.1%
2	2人	394	36.0%
3	3人	238	21.8%
4	4人	161	14.7%
5	5人	62	5.7%
6	6人	18	1.6%
7	7人	3	0.3%
8	8人	1	0.1%
	無回答	18	1.6%
	合計	1,093	100%

問6 被災時のお住まいの区はどちらですか。

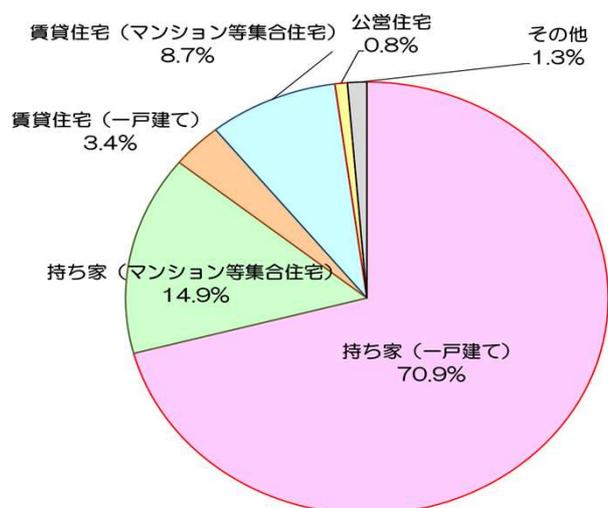


有効回答内訳（無回答あり）

No	区	回答数	割合
1	中央区	235	21.5%
2	東区	358	32.8%
3	西区	131	12.0%
4	南区	191	17.5%
5	北区	172	15.7%
	無回答	6	0.5%
	合計	1,093	100%

被災状況について

問7 被災時に住んでいた住居について教えてください。



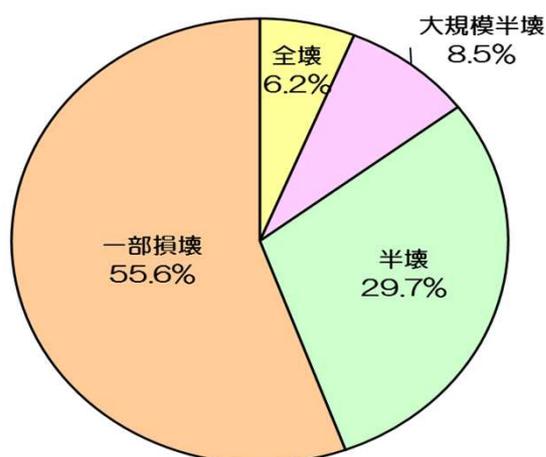
グラフ中の割合は、無回答を除いた割合

有効回答内訳（無回答あり）

No	選択肢	回答数	割合 (無回答含)	割合 (無回答除く)
1	持ち家（一戸建て）	769	70.4%	70.9%
2	持ち家（マンション等集合住宅）	162	14.8%	14.9%
3	賃貸住宅（一戸建て）	37	3.4%	3.4%
4	賃貸住宅（マンション等集合住宅）	94	8.6%	8.7%
5	公営住宅	9	0.8%	0.8%
6	その他	14	1.3%	1.3%
	無回答	8	0.7%	
	合計	1,093	100%	100%

問8 住居のり災の程度を教えてください。（り災証明書のり災区分）

有効回答内訳（無回答あり）



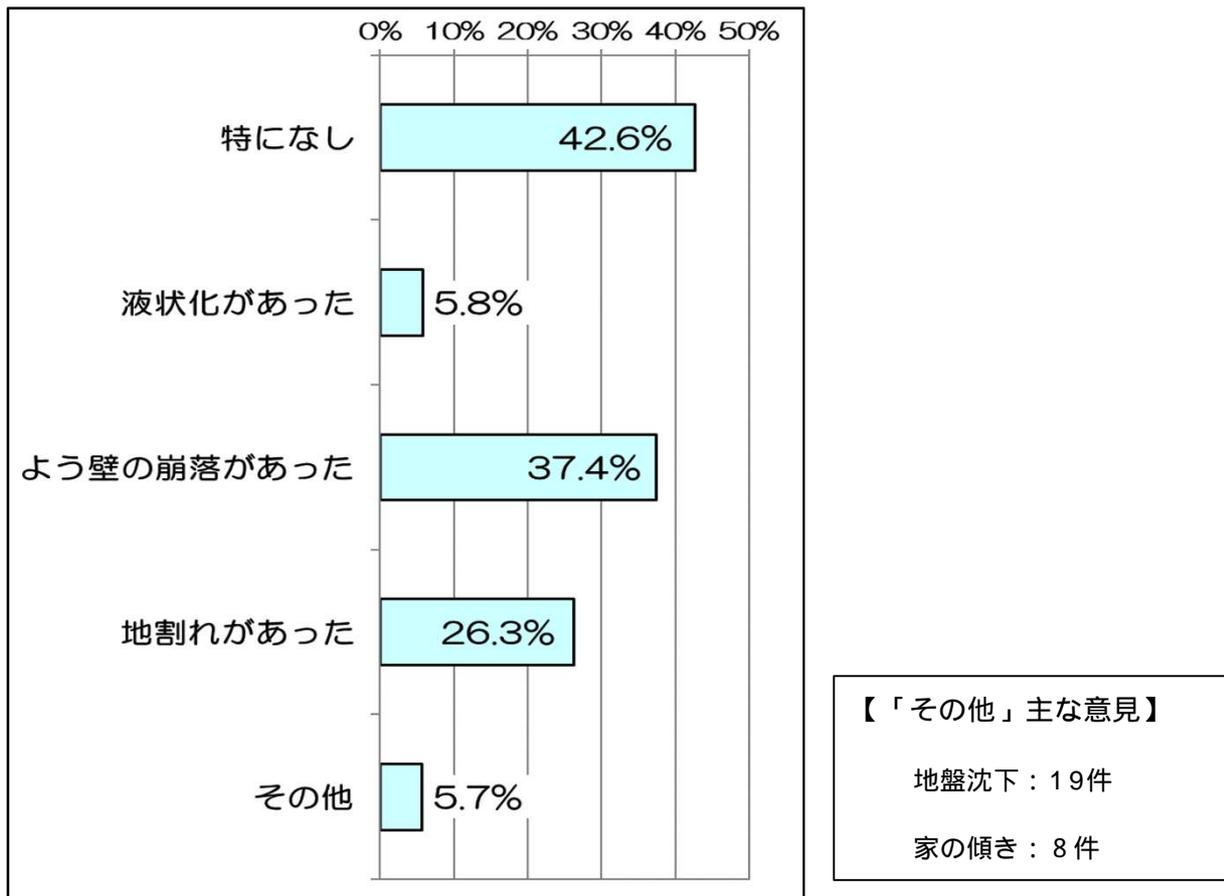
No	選択肢	回答数	割合 (無回答含)	割合 (無回答除く)
1	全壊	67	6.1%	6.2%
2	大規模半壊	92	8.4%	8.5%
3	半壊	321	29.4%	29.7%
4	一部損壊	601	55.0%	55.6%
	無回答	12	1.1%	
	合計	1,093	100%	100%

（参考）り災証明発行割合（9月30日時点）

No	選択肢	割合
1	全壊	5.2%
2	大規模半壊	8.0%
3	半壊	29.1%
4	一部損壊	57.7%

グラフ中の割合は、無回答を除いた割合

問9 宅地の被害状況を教えてください。(複数回答可)



グラフ中の割合は、無回答を除いた割合

有効回答内訳(無回答あり)

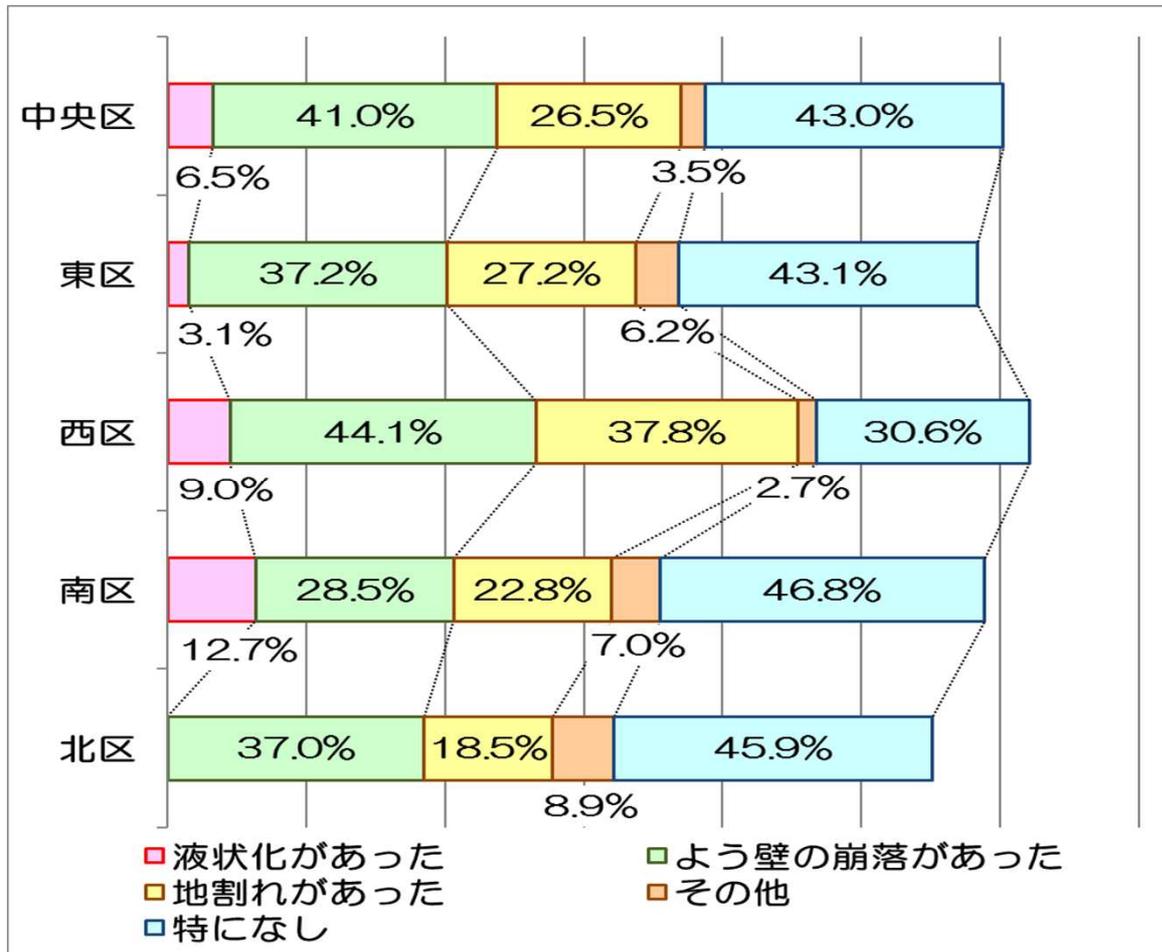
No	選択肢	回答数	割合 (無回答含む)	割合 (無回答除く)
1	特になし	381	34.9%	42.6%
2	液状化があった	52	4.8%	5.8%
3	よう壁の崩落があった	334	30.6%	37.4%
4	地割れがあった	235	21.5%	26.3%
5	その他	51	4.7%	5.7%
	無回答	199	18.2%	
	回答数合計	1,252		
	回答者数	1,093		

宅地の被害が想定以上の割合で発生していたことがわかったが、宅地被害と地域との間に因果関係がないかどうかを分析するために、宅地被害と居住区の回答のクロス集計を行った。

居住区と宅地被害の関係（問6、問9のクロス集計）（問9は複数回答可）

No	選択肢	中央区		東区		西区		南区		北区		合計	
		回答数	割合	回答数	割合								
1	特になし	86	43.0%	125	43.1%	34	30.6%	74	46.8%	62	45.9%	381	42.6%
2	液状化があった	13	6.5%	9	3.1%	10	9.0%	20	12.7%	0	0.0%	52	5.8%
3	よう壁の崩落があった	82	41.0%	108	37.2%	49	44.1%	45	28.5%	50	37.0%	334	37.4%
4	地割れがあった	53	26.5%	79	27.2%	42	37.8%	36	22.8%	25	18.5%	235	26.3%
5	その他	7	3.5%	18	6.2%	3	2.7%	11	7.0%	12	8.9%	51	5.7%
	無回答	35		68		20		33		37		193	
	回答数合計	276		407		158		219		186		1,246	
	回答者数	235		358		131		191		172		1,087	

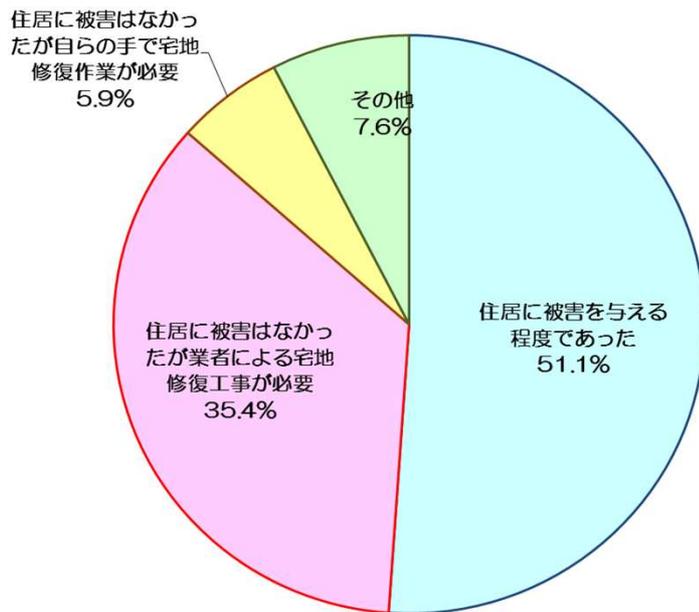
問6の無回答6件については、集計に含まれていない。



【集計分析】

全区において、50%以上の割合で何らかの宅地被害があったという回答があっている。そのうち、よう壁の崩落は、いずれの区においても高い割合で発生しており、液状化については、南区及び西区の割合が高くなっている。

問10 宅地の被害の状況はどの程度でしたか？【問9で「1」以外と回答した方にお尋ねします。】



【「その他」主な意見】

- 室内壁の破損や雨漏り、家の傾斜など：11件
- 宅地や住居の修復工事を行った、又は行う必要がある：5件
- 修理費用等も高額なため、このまま住む：3件

グラフ中の割合は、無回答を除いた割合

有効回答内訳（無回答あり）[問9で「1」以外の回答：712件]

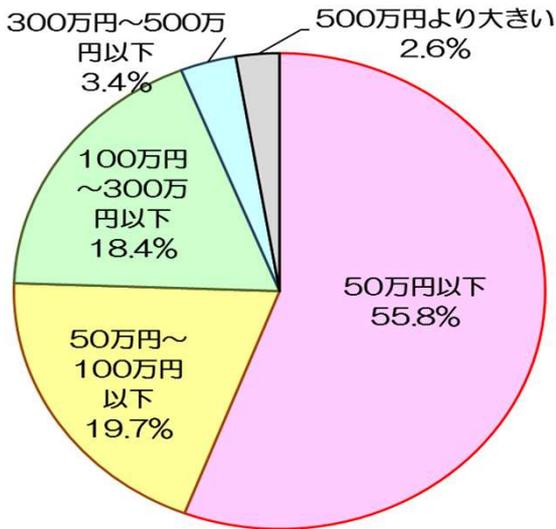
No	選択肢	回答数	割合 (無回答含)	割合 (無回答除く)
1	住居に被害を与える程度であった	277	38.9%	51.1%
2	住居に被害はなかったが業者による宅地修復工事が必要	192	27.0%	35.4%
3	住居に被害はなかったが自らの手で宅地修復作業が必要	32	4.5%	5.9%
4	その他	41	5.8%	7.6%
	無回答	170	23.9%	
	合計	712	100%	100%

【集計分析】

「住居に被害を与える程度であった」が約50%を占めており、宅地被害を受けた半数以上の世帯が住居にも被害を受けたことがわかる。

また、「住居に被害はなかったが業者による宅地修復工事が必要」が約35%を占めており、住居に被害を受けていない場合においても、宅地修復工事を必要とする割合が高くなっている。

問11 家財の被害状況を教えてください。



有効回答内訳（無回答あり） 1,100万円以上はエラーとして除外（7件）

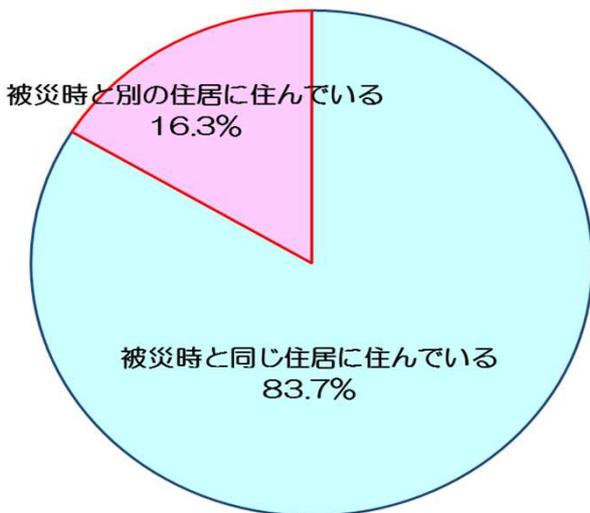
No	選択肢	回答数	割合 (無回答含)	割合 (無回答除く)
1	50万円以下	527	48.5%	55.8%
2	50万円～100万円以下	186	17.1%	19.7%
3	100万円～300万円以下	174	16.0%	18.4%
4	300万円～500万円以下	32	2.9%	3.4%
5	500万円より大きい	25	2.3%	2.6%
	無回答	142	13.1%	
	合計	1,086	100%	100%

平均金額	108
------	-----

1,100万円以上を除外した根拠としては、本調査で回答数が多い、50代以上、世帯人数1人から3人の条件で、民間企業が提示している家財の評価額を参考に積算した。

グラフ中の割合は、無回答を除いた割合

問12 現在のお住まいのところ（または居るところ）について教えてください。



グラフ中の割合は、無回答を除いた割合

有効回答内訳（無回答あり）

No	選択肢	回答数	割合 (無回答含)	割合 (無回答除く)
1	被災時と同じ住居に住んでいる	909	83.2%	83.7%
2	被災時と別の住居に住んでいる	177	16.2%	16.3%
	無回答	7	0.6%	
	合計	1,093	100%	100%

【集計分析】

「被災時と別の住居に住んでいる」と回答した割合は16.3%となっており、全ての被災世帯（9月30日時点のり災証明発行世帯：104,894件）で考えると、実に17,098世帯が慣れない環境下での生活を余儀なくされていることがうかがえる。

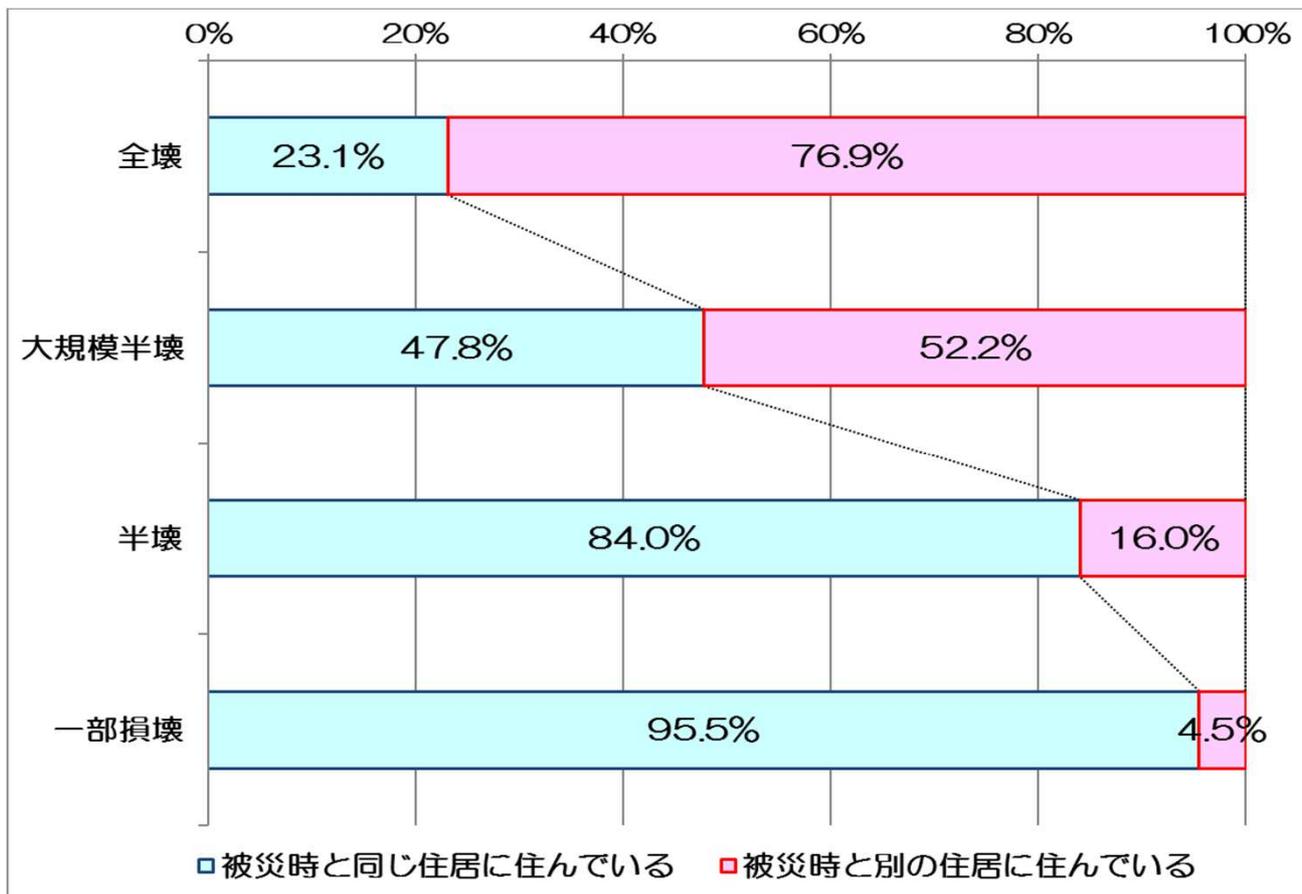
（参考）仮設住宅、みなし仮設住宅の入居世帯数 6,074世帯（9月30日時点）

被災時と別の住居に住んでいる世帯の状況をさらに詳細に分析するために、り災区分と被災前後の住居のクロス集計を行った。

り災区分と現在のお住まいの関係（問8、問12のクロス集計）

No	選択肢	全壊		大規模半壊		半壊		一部損壊		合計	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	被災時と同じ住居に住んでいる	15	23.1%	44	47.8%	268	84.0%	571	95.5%	898	83.6%
2	被災時と別の住居に住んでいる	50	76.9%	48	52.2%	51	16.0%	27	4.5%	176	16.4%
	無回答	2		0		2		3		7	
	合計	67	100%	92	100%	321	100%	601	100%	1,081	100%

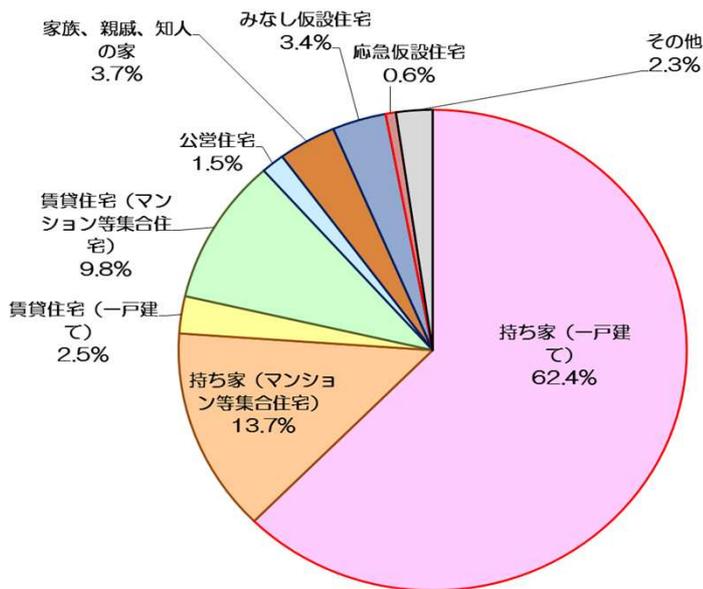
問8の無回答12件については、集計に含まれていない。



【集計分析】

り災区分と現在の居住状況の関係を見ると、り災区分が重いほど「被災時と別の住居に住んでいる」割合が高く、全壊では約77%、大規模半壊では約52%の世帯が別の住居に住んでいる。
 しかし一方で、全壊でも約23%の世帯が被災時と同じ住居に住み続けており、危険な住環境で暮らしていることがうかがえる。

問13 現在住んでいる住居について教えてください。



【「その他」主な意見】

福祉施設などの施設関連の意見：5件

社宅や事務所など：3件

敷地内の納屋など：3件

実家等の親族が所有している家：2件

店舗兼住宅：2件

高齢者住宅：2件

グラフ中の割合は、無回答を除いた割合

有効回答内訳（無回答あり）

No	選択肢	回答数	割合 (無回答含)	割合 (無回答除く)
1	持ち家（一戸建て）	674	61.7%	62.4%
2	持ち家（マンション等集合住宅）	148	13.5%	13.7%
3	賃貸住宅（一戸建て）	27	2.5%	2.5%
4	賃貸住宅（マンション等集合住宅）	106	9.7%	9.8%
5	公営住宅	16	1.5%	1.5%
6	家族、親戚、知人の家	40	3.7%	3.7%
7	みなし仮設住宅	37	3.4%	3.4%
8	応急仮設住宅	7	0.6%	0.6%
9	その他	25	2.3%	2.3%
	無回答	13	1.2%	
	合計	1,093	100%	100%

（注）

「4 賃貸住宅（マンション等集合住宅）」と回答した中には相当数が実際は「みなし仮設住宅」が含まれているものと思われる。

9月30日時点のみなし仮設入居世帯数 5,578世帯（り災証明発行世帯数のうち5.3%）

【集計分析】

問7の被災時に住んでいた住居と比較すると、持ち家の割合が約85%から約75%と10%程度減少しており、震災後に仮設住宅やみなし仮設住宅等へと転居したことが影響しているものと思われる。

さらに被災後に転居した世帯の現在の住環境を詳細に分析するために、転居した世帯と現在の住居のクロス集計を行った。

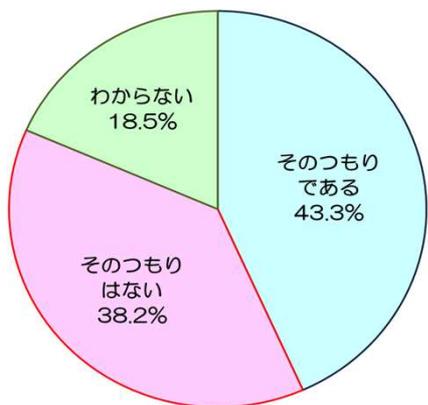
被災時と別の住居に住んでいる方の現在の住居の関係（問12、問13のクロス集計）
 [問12で「2」と回答：177件]

No	選択肢	回答数	割合 (無回答含)	割合 (無回答除く)
1	持ち家（一戸建て）	13	7.3%	7.5%
2	持ち家（マンション等集合住宅）	3	1.7%	1.7%
3	賃貸住宅（一戸建て）	4	2.3%	2.3%
4	賃貸住宅（マンション等集合住宅）	59	33.3%	33.9%
5	公営住宅	6	3.4%	3.4%
6	家族、親戚、知人の家	34	19.2%	19.5%
7	みなし仮設住宅	36	20.3%	20.7%
8	応急仮設住宅	7	4.0%	4.0%
9	その他	12	6.8%	6.9%
	無回答	3	1.7%	
	合計	177	100%	100%

【集計分析】

問12において「被災時と別の住居に住んでいる」と回答した世帯で見ると、「家族、親戚、知人の家」及び「その他」と回答した割合が合わせて26.4%と高い。

問14 将来的には元の住所に戻って住む予定ですか。【問12で「2」と答えた方にお尋ねします。】



有効回答内訳（無回答あり）[問12で「2」と回答：177件]

No	選択肢	回答数	割合 (無回答含)	割合 (無回答除く)
1	そのつもりである	68	38.4%	43.3%
2	そのつもりはない	60	33.9%	38.2%
3	わからない	29	16.4%	18.5%
	無回答	20	11.3%	
	合計	177	100%	100%

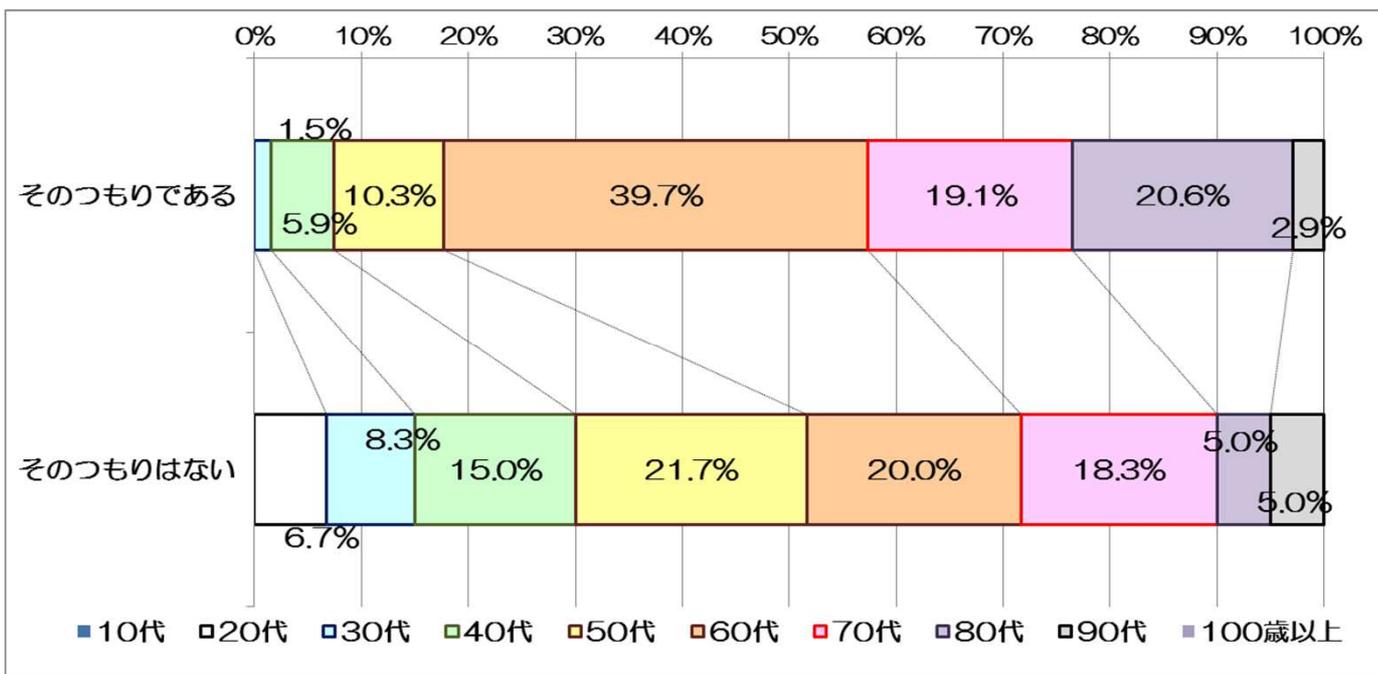
グラフ中の割合は、無回答を除いた割合

年齢の内訳（問2、問14のクロス集計）

No	選択肢	1 そのつもりである		2 そのつもりはない	
		回答数	割合	回答数	割合
1	10代	0	0.0%	0	0.0%
2	20代	0	0.0%	4	6.7%
3	30代	1	1.5%	5	8.3%
4	40代	4	5.9%	9	15.0%
5	50代	7	10.3%	13	21.7%
6	60代	27	39.7%	12	20.0%
7	70代	13	19.1%	11	18.3%
8	80代	14	20.6%	3	5.0%
9	90代	2	2.9%	3	5.0%
10	100歳以上	0	0.0%	0	0.0%
	合計	68	100%	60	100%

【集計分析】

「そのつもりである」と「そのつもりはない」と回答した者の年齢別内訳を比較してみると、60代、80代に、元の地域に戻って生活したい意向がうかがえる。

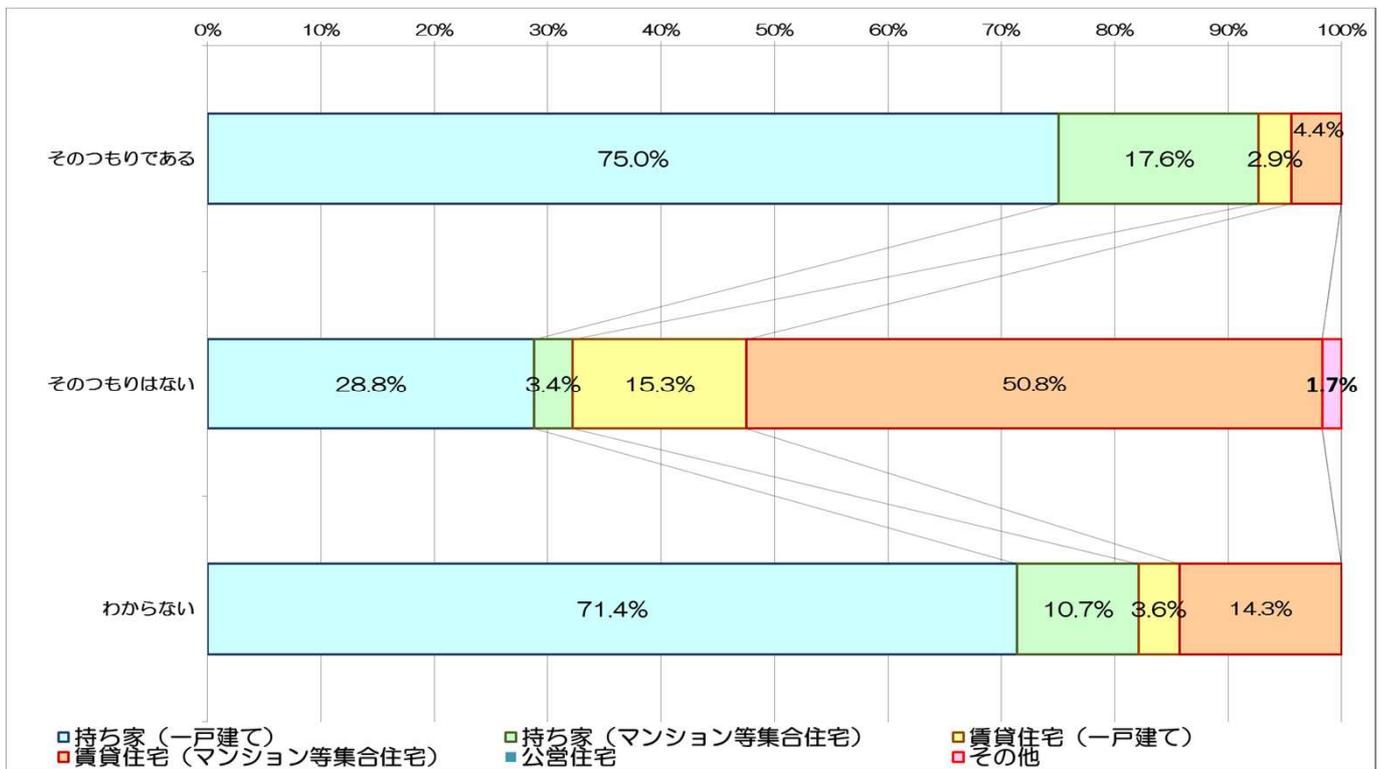


被災時と別の住居に住んでいる方のうち、被災時に住んでいた居住形態と元の住所へ戻りたい意向に
 関連関係がないかどうかを分析するため、クロス集計を行った。

被災時に住んでいた居住形態と元の住所に戻る意向の関係（問7、問14のクロス集計）[問12で「2」と回答：177件]

No	選択肢	1 そのつもりである		2 そのつもりはない		3 わからない		合計	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	持ち家（一戸建て）	51	75.0%	17	28.8%	20	71.4%	88	56.8%
2	持ち家（マンション等集合住宅）	12	17.6%	2	3.4%	3	10.7%	17	11.0%
3	賃貸住宅（一戸建て）	2	2.9%	9	15.3%	1	3.6%	12	7.7%
4	賃貸住宅（マンション等集合住宅）	3	4.4%	30	50.8%	4	14.3%	37	23.9%
5	公営住宅	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6	その他	0	0.0%	1	1.7%	0	0.0%	1	0.6%
	無回答	0		1		1		2	
	合計	68	100%	60	100%	29	100%	157	100%

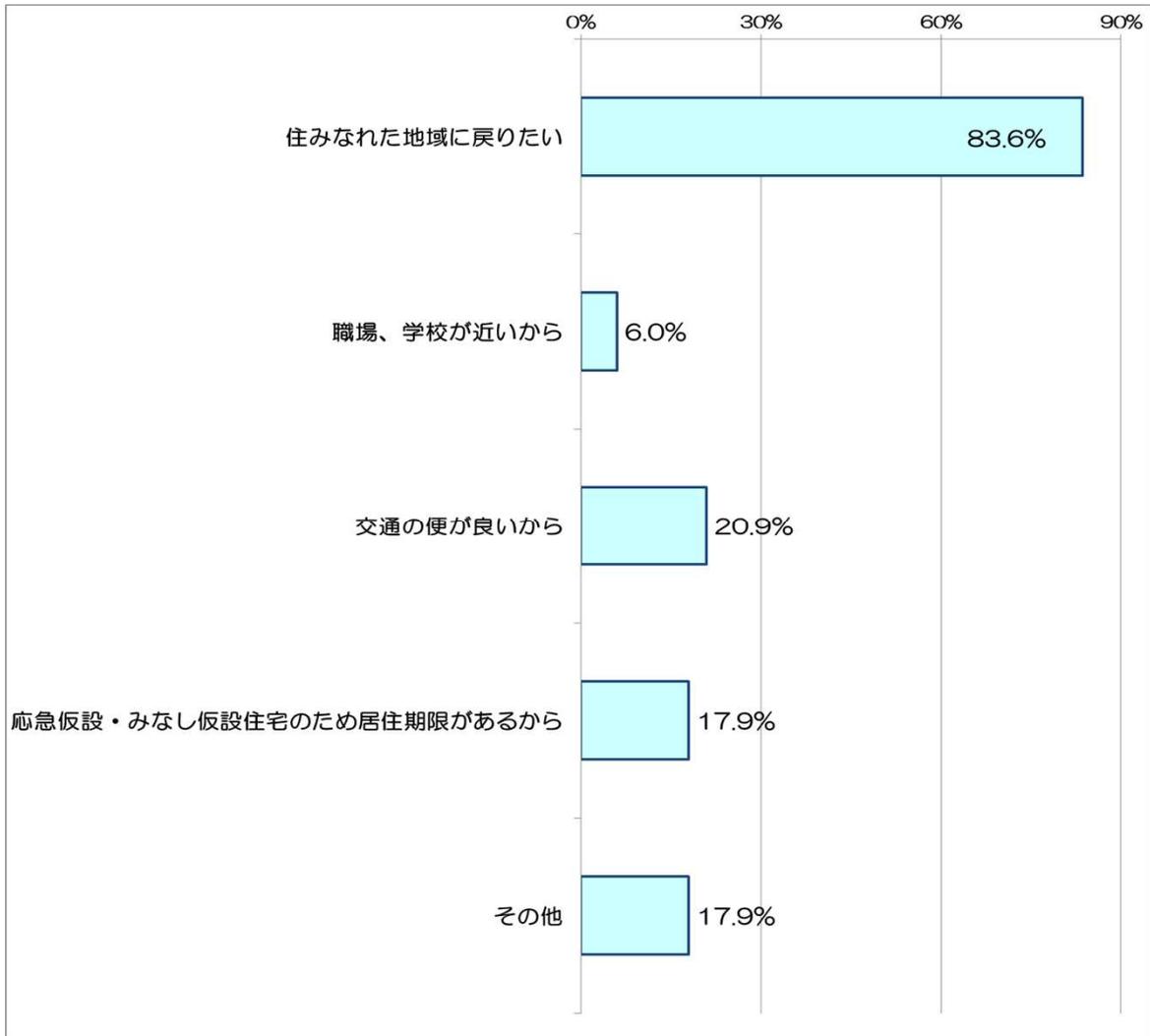
問14の無回答20件については、集計に含まれていない。



【集計分析】

被災時の住居に戻る意向を示している世帯では、被災時の居住形態が持ち家の割合が圧倒的に高く、反対に、戻る意向を示していない世帯では、賃貸の割合が高くなっている。

問15 理由は何ですか。(複数回答可)【問14で「1」と答えた方にお尋ねします。】

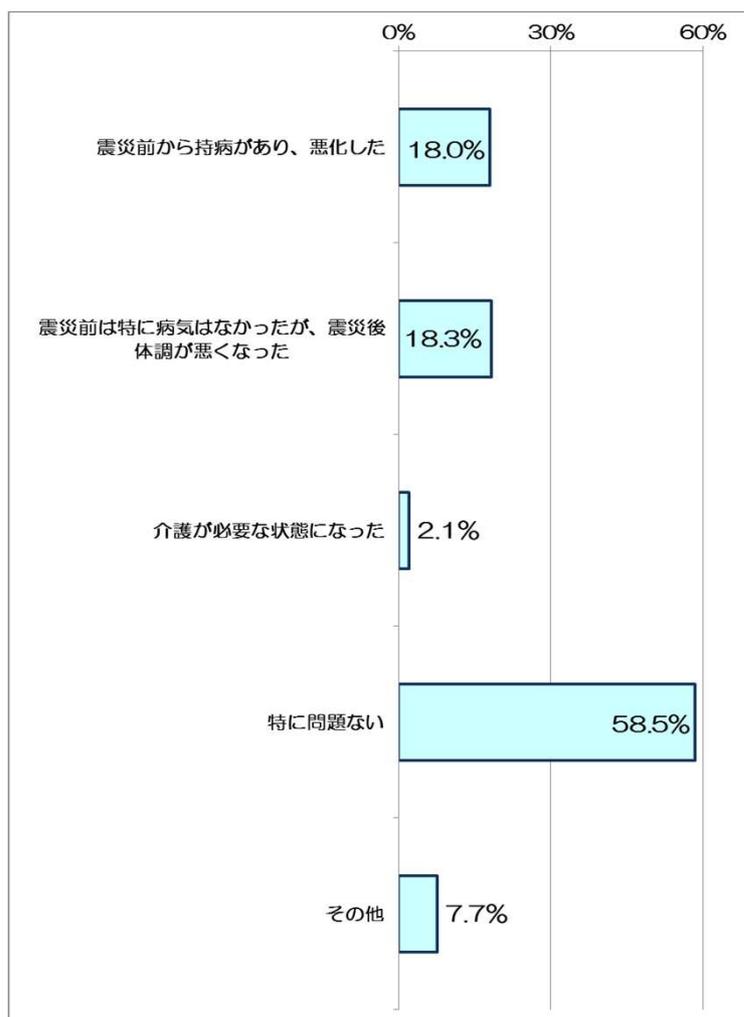


有効回答内訳(無回答あり)[問14で「1」と回答:68件]

No	選択肢	回答数	割合 (無回答含)	割合 (無回答除く)
1	住みなれた地域に戻りたい	56	82.4%	83.6%
2	職場、学校が近いから	4	5.9%	6.0%
3	交通の便が良いから	14	20.6%	20.9%
4	応急仮設・みなし仮設住宅のため居住期限があるから	12	17.6%	17.9%
5	その他	12	17.6%	17.9%
	無回答	1	1.5%	
	回答数合計	99		
	回答者数	68		

健康状態について

問 1 6 あなたやご家族の健康状態で当てはまるものがありますか。（複数回答可）



【「その他」主な意見】

精神的不穏や不安、PTSD発症、ストレスからの体調不良、不眠、音や揺れに敏感になったなど、地震によるストレスが影響していると考えられる意見：30件

転落による怪我、避難する際の怪我、腰痛などの身体的症状の意見：15件

子どもがうつになった、不安がっているなど、子どもへの精神的影響の意見：6件

震災前から足が悪いが変化なし、もともと持病など、震災前から持病を持っているとの意見：6件

体重の減少など：3件

その他、「いつも疲れている状態」や「多忙になり生活リズムが変化した」、「母乳がでなくなった」、「エコノミークラス症候群になった」などの意見があった。

有効回答内訳（無回答あり）

No	選択肢	回答数	割合 (無回答含)	割合 (無回答除く)
1	震災前から持病があり、悪化した	193	17.7%	18.0%
2	震災前は特に病気はなかったが、震災後体調が悪くなった	196	17.9%	18.3%
3	介護が必要な状態になった	23	2.1%	2.1%
4	特に問題ない	627	57.4%	58.5%
5	その他	82	7.5%	7.7%
	無回答	22	2.0%	
	回答数合計	1,143		
	回答者数	1,093		

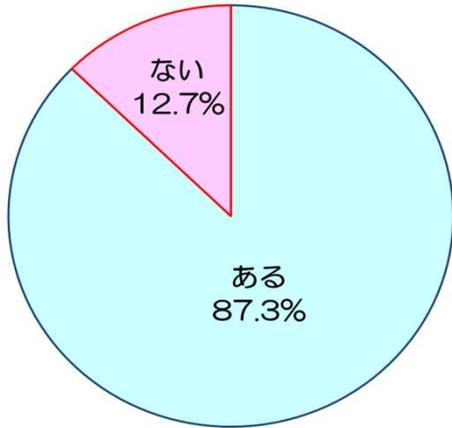
【集計分析】

「特に問題ない」が58.5%と最も高い割合であるが、「震災前は特に病気はなかったが、震災後体調が悪くなった」（18.3%）、「震災前から持病があり、悪化した」（18.0%）も高い割合にあり、震災により体調へ悪影響を与えていることがうかがえる。

また、「その他」の意見では、精神的なストレス・不安などの意見や子どもが不安がっているなどの意見が多かった。

問17 かかりつけの医療機関や相談先はありますか。【問16で「4」以外に回答した方にお尋ねします。】

有効回答内訳（無回答あり）[問16で「4」以外と回答：466件]



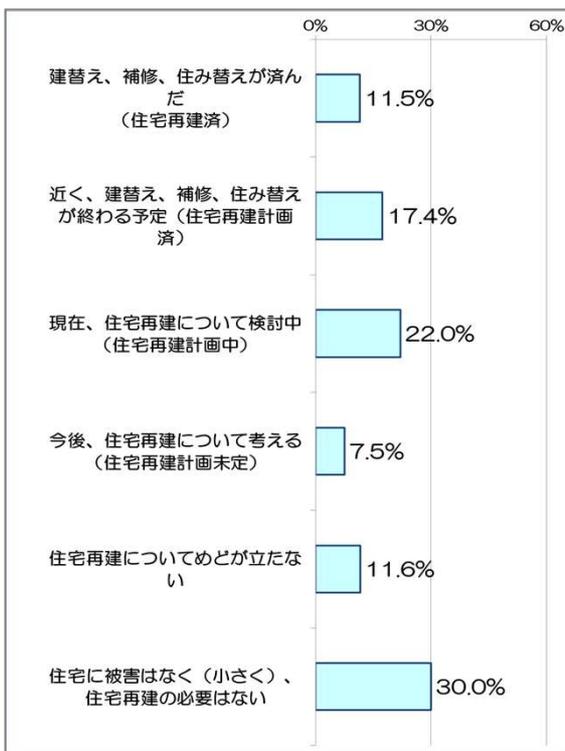
No	選択肢	回答数	割合 (無回答含)	割合 (無回答除く)
1	ある	358	76.8%	87.3%
2	ない	52	11.2%	12.7%
	無回答	56	12.0%	
	合計	466	100%	100%

グラフ中の割合は、無回答を除いた割合

今後のお住まいについて

問18 住宅の再建状況を教えてください。

なお、本質問における「住み替え」には、応急仮設・みなし仮設住宅は含まないものとします。



有効回答内訳（無回答あり）

No	選択肢	回答数	割合 (無回答含)	割合 (無回答除く)
1	建替え、補修、住み替えが済んだ（住宅再建済）	106	9.7%	11.5%
2	近く、建替え、補修、住み替えが終わる予定（住宅再建計画済）	160	14.6%	17.4%
3	現在、住宅再建について検討中（住宅再建計画中）	203	18.6%	22.0%
4	今後、住宅再建について考える（住宅再建計画未定）	69	6.3%	7.5%
5	住宅再建についてめどが立たない	107	9.8%	11.6%
6	住宅に被害はなく（小さく）、住宅再建の必要はない	277	25.3%	30.0%
	無回答	171	15.6%	
	合計	1,093	100%	100%

グラフ中の割合は、無回答を除いた割合

【集計分析】

「建替え、補修、住み替えが済んだ（住宅再建済）」（11.5%）、「近く、建替え、補修、住み替えが終わる予定（住宅再建計画済）」（17.4%）と回答した住宅再建の目処が立った世帯は、合わせて28.9%である。

一方、「現在、住宅再建について検討中（住宅再建計画中）」、「今後、住宅再建について考える（住宅再建計画未定）」、「住宅再建についてめどが立たない」と回答した、未だ再建の目処が立っていない世帯が41.1%となっており、住宅再建が遅れていることがうかがえる。

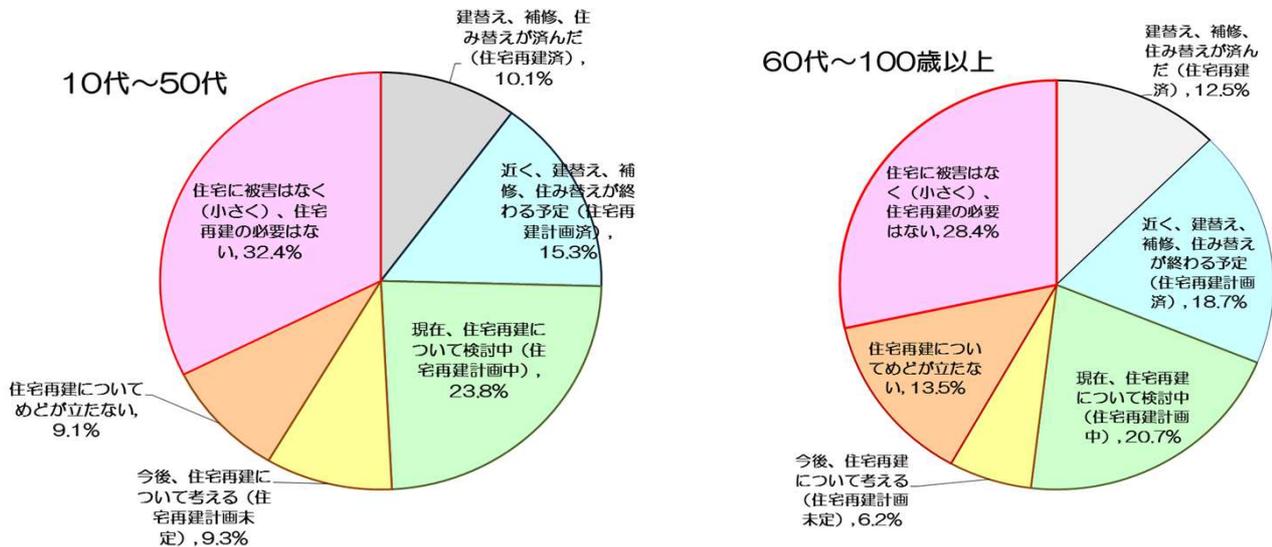
なお、「住宅に被害はなく（小さく）、住宅再建の必要はない」の割合が30.0%と高いが、これは質問を住宅の建替え等のみの再建と誤認した方も含まれている可能性がある。

さらに住宅再建の進捗状況と年齢との間に相関関係がないかどうかを分析するために、年齢と住宅の再建状況とのクロス集計を行った。

年齢との関係（問2、問18のクロス集計）

選択肢	1 建替え、補修、住み替えが済んだ (住宅再建済)		2 近く、建替え、補修、住み替えが終わる予定 (住宅再建計画済)		3 現在、住宅再建について検討中 (住宅再建計画中)		4 今後、住宅再建について考える (住宅再建計画未定)		5 住宅再建についてめどが立たない		6 住宅に被害はなく(小さく)、住宅再建の必要はない		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
10代～50代	39	10.1%	59	15.3%	92	23.8%	36	9.3%	35	9.1%	125	32.4%	386	100%
60代～100歳以上	67	12.5%	100	18.7%	111	20.7%	33	6.2%	72	13.5%	152	28.4%	535	100%
無回答	0		1		0		0		0		0		1	
合計	106		160		203		69		107		277		922	

問18の無回答171件については、集計に含まれていない。



【集計分析】

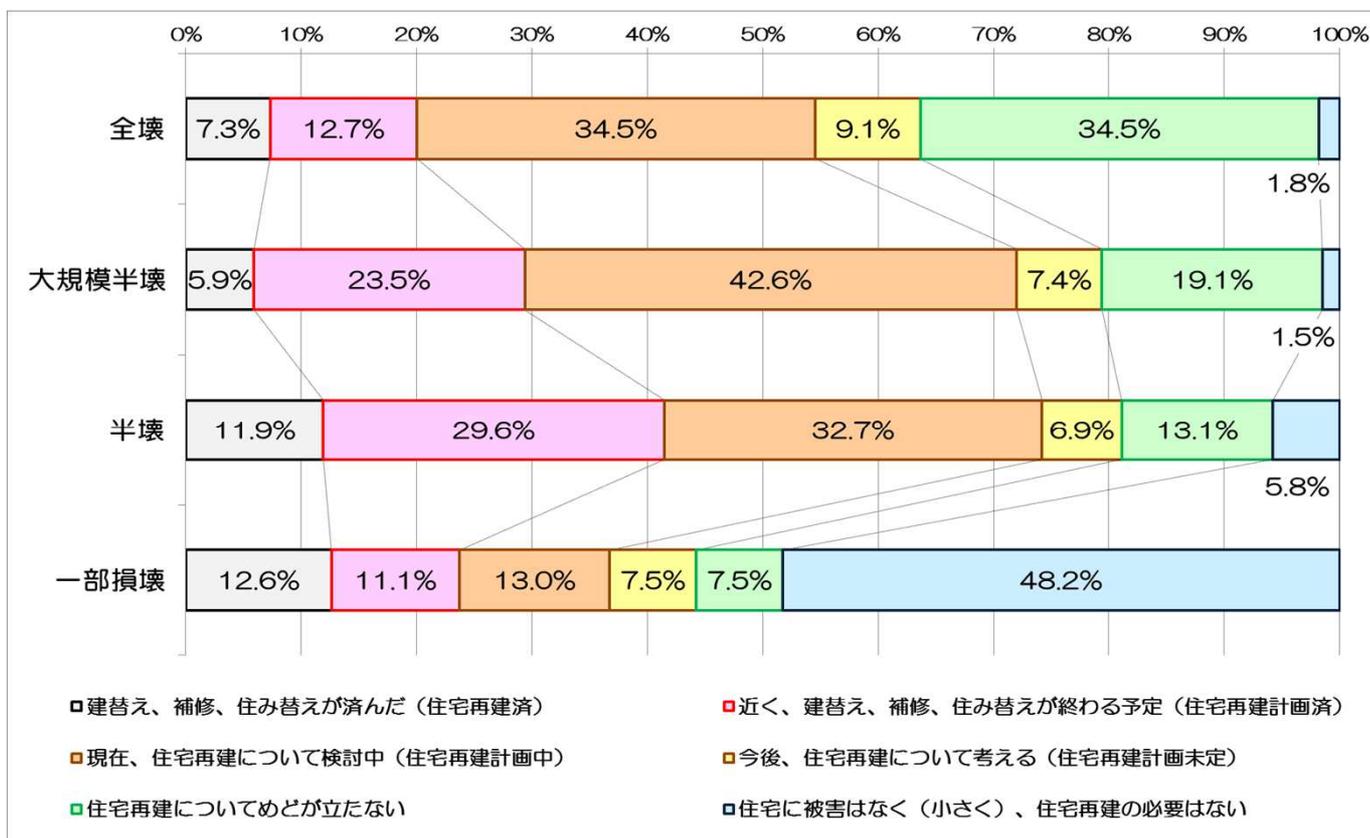
50代以下の世帯と60代以上の世帯を比較すると「建替え、補修、住み替えが済んだ(住宅再建済)」、「近く、建替え、補修、住み替えが終わる予定(住宅再建計画済)」と回答した割合は、60代上の方が高いが、「住宅再建についてめどが立たない」の回答も60代以上の方が高く、高齢世代における住宅再建の進捗が二極化していることがうかがえる。

さらに、り災の区分と住宅の再建状況との間に相関関係がないかどうかを分析するために、り災区分と住宅の再建状況とのクロス集計を行った。

り災区分との関係（問8、問18のクロス集計）

No	選択肢	1 建替え、補修、住み替えが済んだ (住宅再建済)		2 近く、建替え、補修、住み替えが 終わる予定 (住宅再建計画済)		3 現在、住宅再建に ついて検討中 (住宅再建計画中)		4 今後、住宅再建 について考える (住宅再建計画未定)		5 住宅再建について めどが立たない		6 住宅に被害は なく(小さく)、 住宅再建の必要 はない		合計	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	全壊	4	7.3%	7	12.7%	19	34.5%	5	9.1%	19	34.5%	1	1.8%	55	100%
2	大規模半壊	4	5.9%	16	23.5%	29	42.6%	5	7.4%	13	19.1%	1	1.5%	68	100%
3	半壊	31	11.9%	77	29.6%	85	32.7%	18	6.9%	34	13.1%	15	5.8%	260	100%
4	一部損壊	67	12.6%	59	11.1%	69	13.0%	40	7.5%	40	7.5%	256	48.2%	531	100%
	無回答	0		1		1		1		1		4		8	
	合計	106	11.5%	160	17.4%	203	22.0%	69	7.5%	107	11.6%	277	30.0%	922	100%

問18の無回答171件については、集計に含まれていない。



【集計分析】

一部損壊では「住宅に被害はなく(小さく)、住宅再建の必要はない」の回答が、約50%を占めるなど圧倒的に高くなっている。

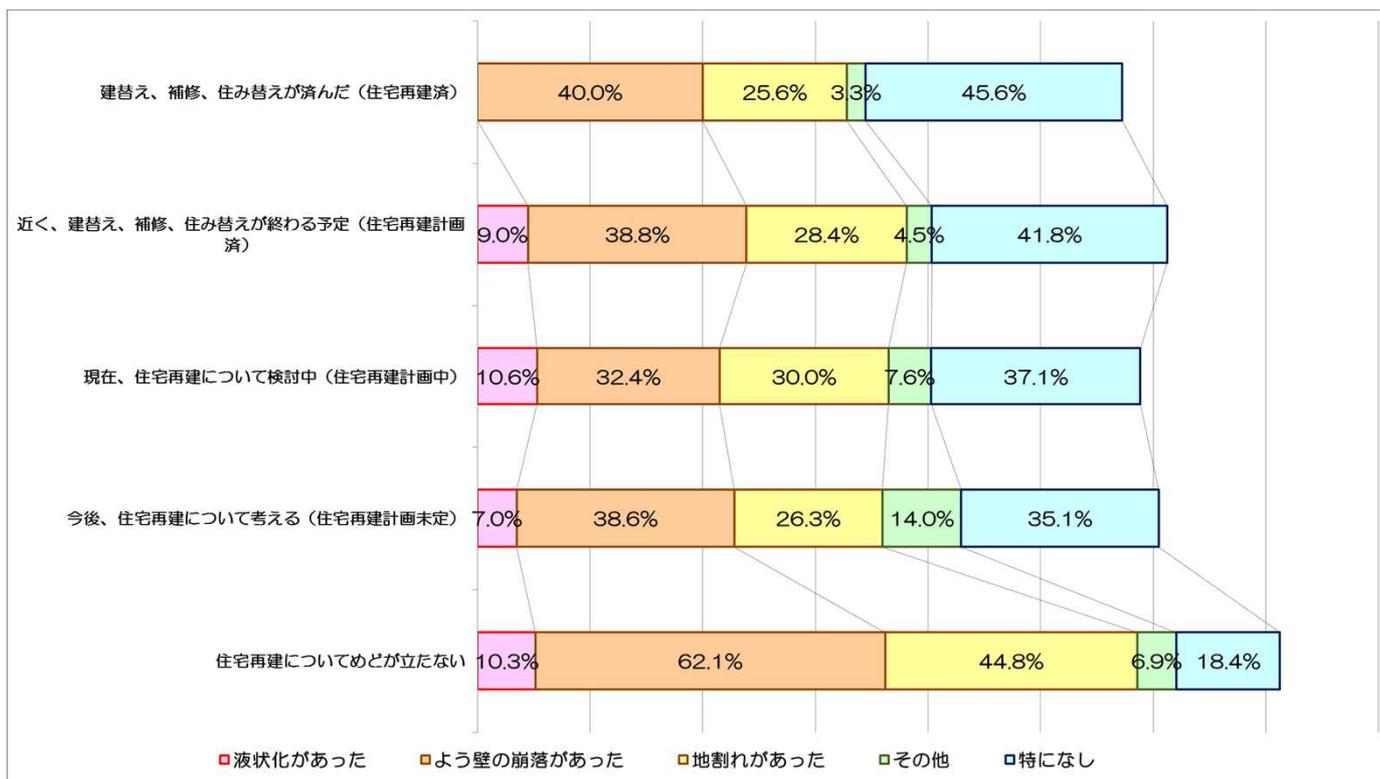
一方で、半壊以上ではり災区分が重くなるほど「建替え、補修、住み替えが済んだ(住宅再建済)」、「近く、建替え、補修、住み替えが終わる予定(住宅再建計画済)」の回答は少なくなっており、また、「住宅再建についてめどが立たない」については、り災区分が重くなるほど割合が高くなっているなど、被害の程度が大きいほど住宅再建が進んでいないことがうかがえる。

さらに、宅地被害と住宅の再建状況との間に相関関係がないかどうかを分析するために、宅地被害の状況と住宅の再建状況のクロス集計を行った。

宅地被害との関係（問9、問18のクロス集計）（問9は複数回答可）

No	選択肢	1 建替え、補修、住み替えが済んだ (住宅再建済)		2 近く、建替え、補修、住み替えが 終わる予定 (住宅再建計画済)		3 現在、住宅再建につ いて検討中 (住宅再建計画中)		4 今後、住宅再建 について考える (住宅再建計画未定)		5 住宅再建について めどが立たない		6 住宅に被害は なく(小さく)、 住宅再建の必要はない		合計	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	特になし	41	45.6%	56	41.8%	63	37.1%	20	35.1%	16	18.4%	146	65.2%	342	44.9%
2	液状化があった	0	0.0%	12	9.0%	18	10.6%	4	7.0%	9	10.3%	6	2.7%	49	6.4%
3	よう壁の崩落があった	36	40.0%	52	38.8%	55	32.4%	22	38.6%	54	62.1%	48	21.4%	267	35.0%
4	地割れがあった	23	25.6%	38	28.4%	51	30.0%	15	26.3%	39	44.8%	32	14.3%	198	26.0%
5	その他	3	3.3%	6	4.5%	13	7.6%	8	14.0%	6	6.9%	7	3.1%	43	5.6%
	無回答	16		26		33		12		20		53		160	
	回答数合計	119		190		233		81		144		292		1,059	
	回答者数	106		160		203		69		107		277		922	

問18の無回答171件については、集計に含まれていない。

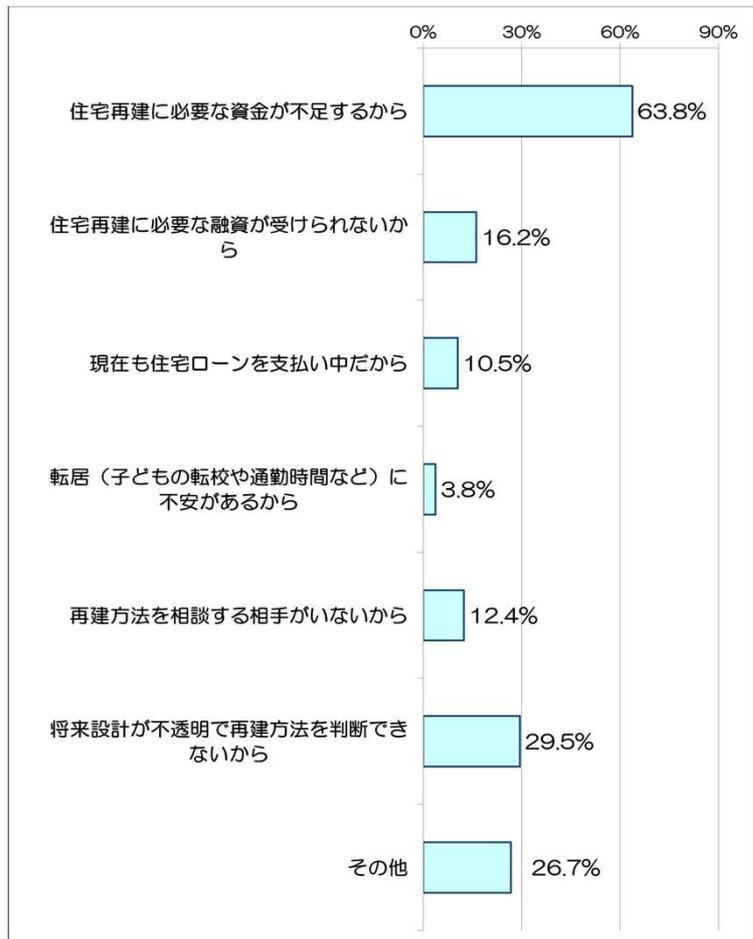


【集計分析】

住宅再建について検討やめどが立たないと回答した世帯ほど、「液状化があった」、「よう壁の崩落があった」、「地割れがあった」などの宅地に何らかの被害があったと回答した割合が高くなっており、宅地被害が住宅再建に影響を与えていることが推察される。

問19 住宅再建のめどが立たない理由（課題）は何ですか。（複数回答可）

【問18で「5」と回答した方にお尋ねします。】



【「その他」主な意見】

「修繕の業者に断られた」、「業者が段取りできない」、「見積りも取れていない」などの業者不足による意見：12件

「家の取り壊しも済んでいない。」
「家の解体後、今後のことを考えたい。」など解体後に考えるとする意見：3件

「マンションの話し合いが進んでいない。」などマンション内での話し合いによる合意形成が取れていないとする意見：3件

その他意見として、「名義変更でもめている。」、「マンションが安全になるまで住めない。」、「賃貸のため住み替え予定。次の住み替え時に空室があるか目処が立たない。」
「何をどうしたらいいのか。家屋の再建など手が回らない。市役所についても課が違つとスタンプラリー状態。」、「年金生活のため」などの意見があった。

グラフ中の割合は、無回答を除いた割合

No	選択肢	回答数	割合 (無回答含)	割合 (無回答除く)
1	住宅再建に必要な資金が不足するから	67	62.6%	63.8%
2	住宅再建に必要な融資が受けられないから	17	15.9%	16.2%
3	現在も住宅ローンを支払い中だから	11	10.3%	10.5%
4	転居（子どもの転校や通勤時間など）に不安があるから	4	3.7%	3.8%
5	再建方法を相談する相手がないから	13	12.1%	12.4%
6	将来設計が不透明で再建方法を判断できないから	31	29.0%	29.5%
7	その他	28	26.2%	26.7%
	無回答	2	1.9%	
	回答数合計	173		
	回答者数	107		

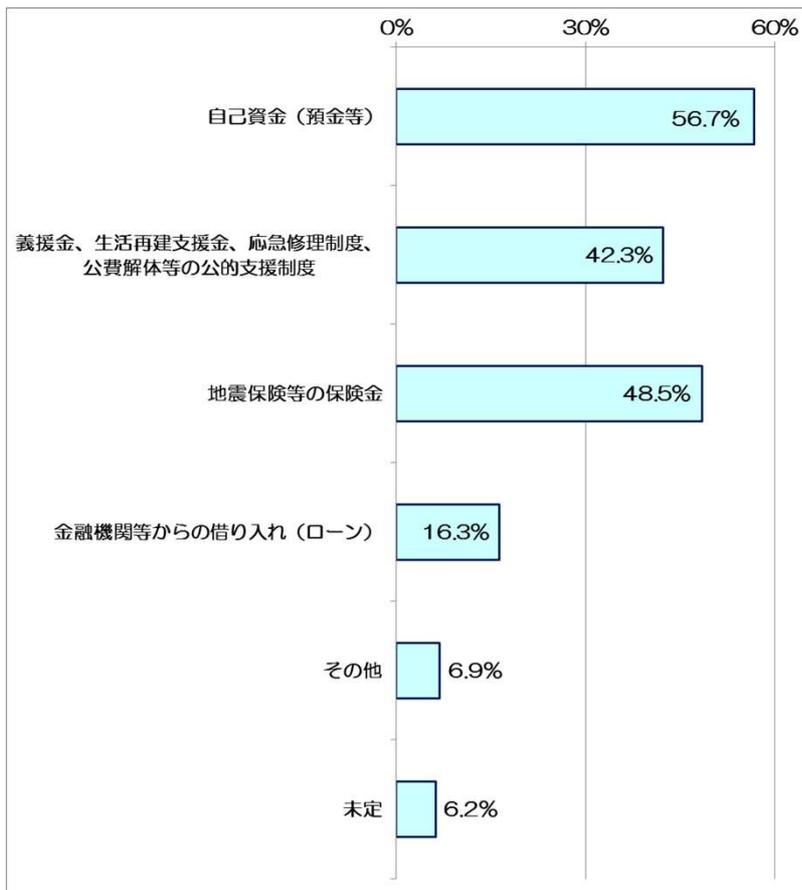
【集計分析】

「住宅再建に必要な資金が不足するから」が63.8%と圧倒的に多く、「住宅再建に必要な融資が受けられないから」（16.2%）、「将来設計が不透明で再建方法を判断できないから」（29.5%）、「再建方法を相談する相手がないから」（12.4%）などの回答も多くなっている。

また、「その他」意見から、住宅再建が遅れている原因に、業者不足、家屋解体の遅れ、マンション問題などがあることもわかる。

問20 建替え、補修、住み替え等に要する資金の財源は何ですか。(複数回答可)

【問18で「6」以外と回答した方にお尋ねします。】



【「その他」主な意見】

「マンション修繕積立金」などの積立金：11件

「大家の負担」：7件

「子供からの援助」などの親族・知人等からの援助：6件

「家族・親戚からの借入れ」などの親族・知人からの借入れ：4件

「職場の補助金」「職場からの見舞金」などの職場からの援助：3件

その他、「予算のめどがたたない」、
「年金のため無理な点が多い。」、
「家のローンもまだ支払中」などの意見があった。

グラフ中の割合は、無回答を除いた割合

有効回答内訳(無回答あり)[問18で「6」以外と回答：816件]

No	選択肢	回答数	割合 (無回答含)	割合 (無回答除く)
1	自己資金(預金等)	393	48.2%	56.7%
2	義援金、生活再建支援金、応急修理制度、公費解体等の公的支援制度	293	35.9%	42.3%
3	地震保険等の保険金	336	41.2%	48.5%
4	金融機関等からの借入れ(ローン)	113	13.8%	16.3%
5	その他	48	5.9%	6.9%
6	未定	43	5.3%	6.2%
	無回答	123	15.1%	
	回答数合計	1,349		
	回答者数	816		

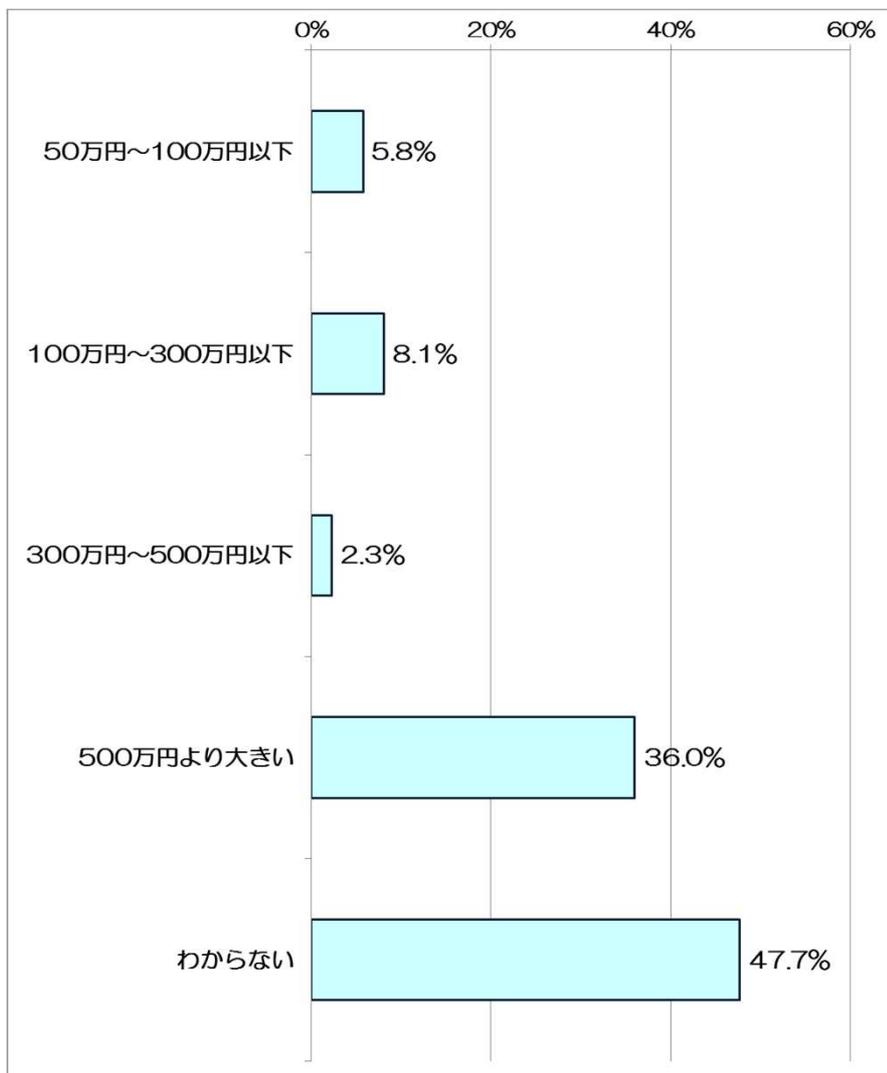
【集計分析】

「自己資金(預金等)」の回答が56.7%と最も高く、「地震保険等の保険金」(48.5%)、「義援金、生活再建支援金、応急修理制度、公費解体等の公的支援制度」(42.3%)と続いているが、「金融機関等からの借入れ(ローン)」と回答した割合が16.3%と低い状況にある。

再建の財源を「金融機関等からの借入れ（ローン）」と回答した方の住宅再建費用との間に相関関係がないかどうかを分析するため、クロス集計を行った。

再建費用と金融機関等からの借入れの関係（問20、問23のクロス集計）

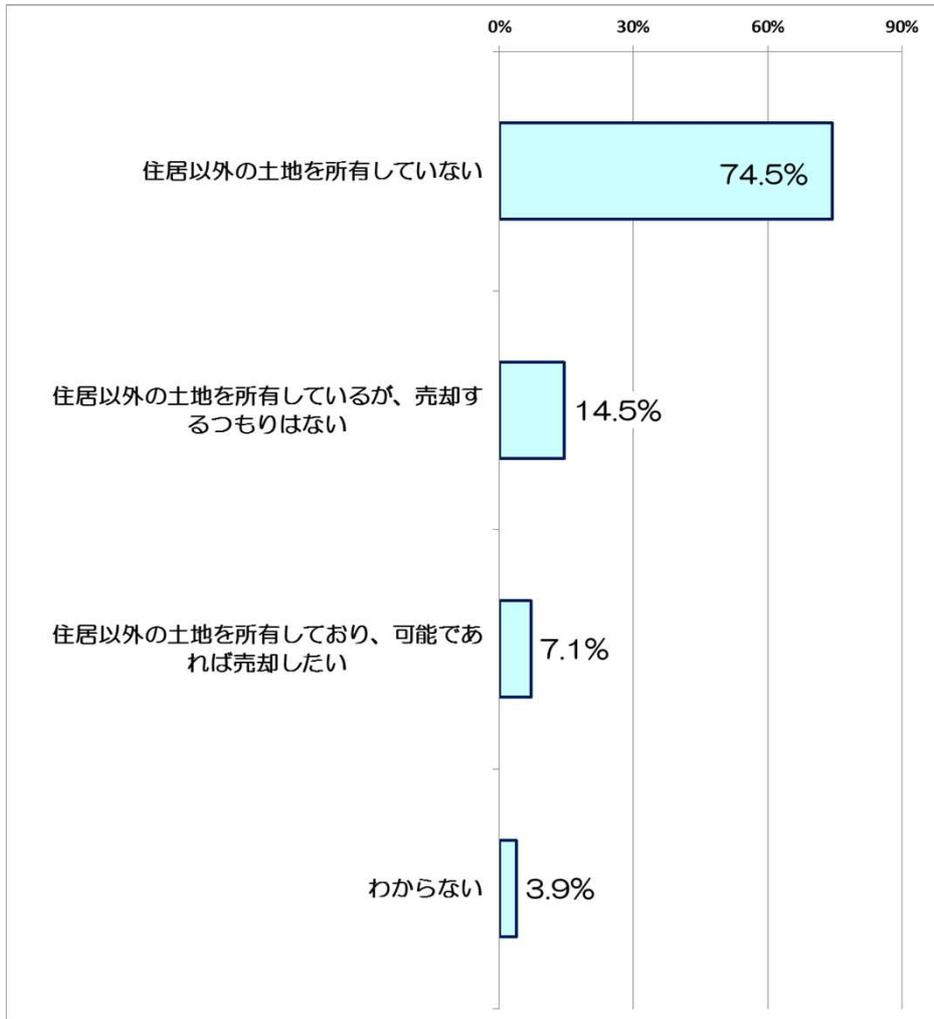
	回答数	割合 (無回答含)	割合 (無回答除く)
50万円以下	0	0.0%	0.0%
50万円～100万円以下	5	4.4%	5.8%
100万円～300万円以下	7	6.2%	8.1%
300万円～500万円以下	2	1.8%	2.3%
500万円より大きい	31	27.4%	36.0%
わからない	41	36.3%	47.7%
無回答	27	23.9%	
合計	113	100%	100%



【集計分析】

再建の財源を「金融機関等からの借入れ（ローン）」と回答した世帯のうち、36.0%の世帯が、住宅の再建費用が「500万より大きい」と回答しており、再建費用が高額なほど借入れやローンを財源とすることがうかがえる。

問 2 1 田畑や住居以外の土地等を所有していますか。また、それらの不動産を売却し住宅再建の資金に充てる意思はありますか。【問 1 8 で「 6 」以外と回答した方にお尋ねします。】



グラフ中の割合は、無回答を除いた割合

有効回答内訳（無回答あり）[問 1 8 で「 6 」以外と回答： 8 1 6 件]

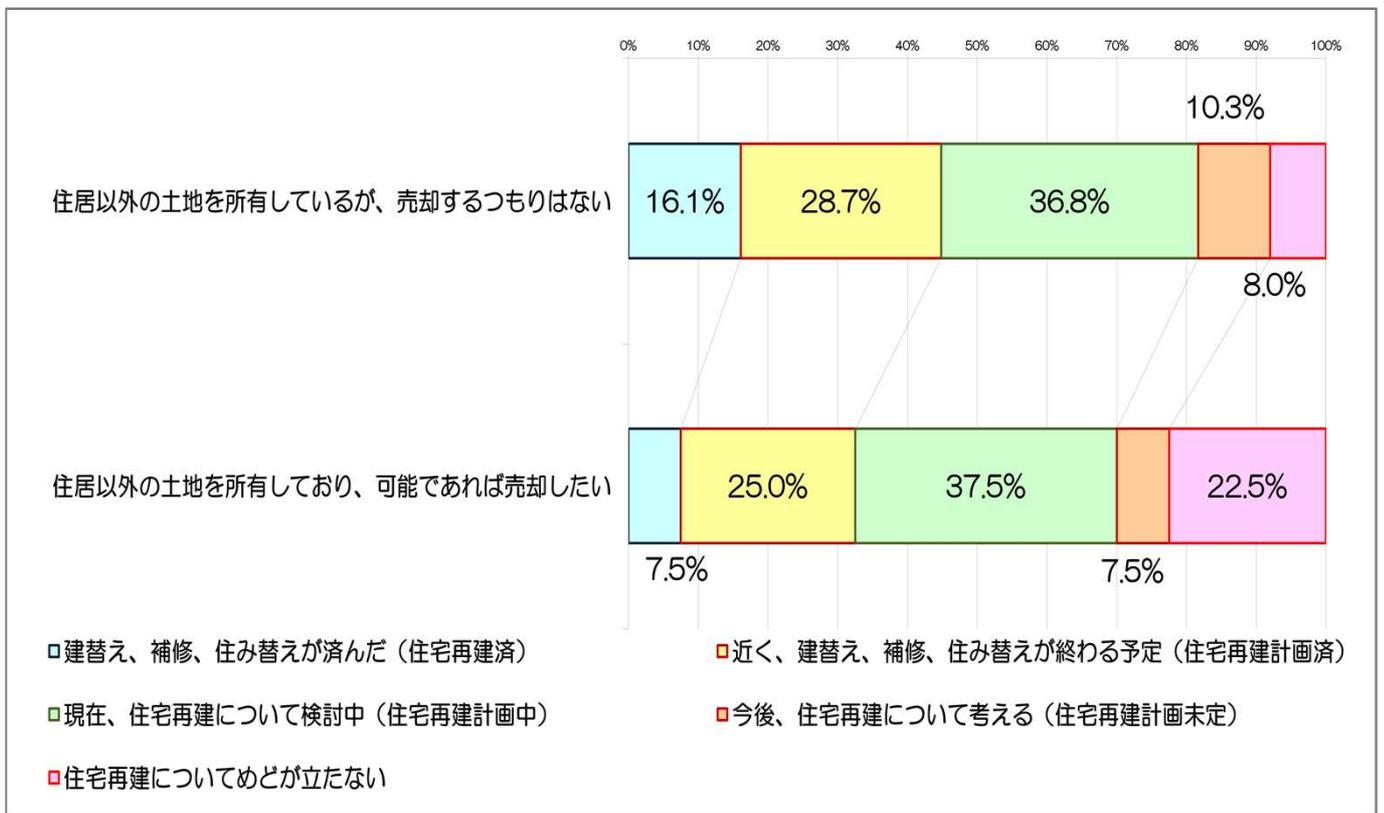
No	選択肢	回答数	割合 (無回答含)	割合 (無回答除く)
1	住居以外の土地を所有していない	502	61.5%	74.5%
2	住居以外の土地を所有しているが、売却するつもりはない	98	12.0%	14.5%
3	住居以外の土地を所有しており、可能であれば売却したい	48	5.9%	7.1%
4	わからない	26	3.2%	3.9%
	無回答	142	17.4%	
	合計	816	100%	100%

住宅の再建計画の進捗状況と土地等の売却の意向に相関関係がないかどうかを分析するために、住宅の再建状況と土地等の売却の意向のクロス集計を行った。

住宅の再建状況と土地等の売却意向の関係（問18、問21のクロス集計）

No	選択肢	1 住居以外の土地を所有していない		2 住居以外の土地を所有しているが、売却するつもりはない		3 住居以外の土地を所有しており、可能であれば売却したい		4 わからない		合計	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	建替え、補修、住み替えが済んだ（住宅再建済）	80	17.9%	14	16.1%	3	7.5%	0	0.0%	97	16.2%
2	近く、建替え、補修、住み替えが終わる予定（住宅再建計画済）	104	23.2%	25	28.7%	10	25.0%	6	27.3%	145	24.3%
3	現在、住宅再建について検討中（住宅再建計画中）	141	31.5%	32	36.8%	15	37.5%	5	22.7%	193	32.3%
4	今後、住宅再建について考える（住宅再建計画未定）	50	11.2%	9	10.3%	3	7.5%	4	18.2%	66	11.1%
5	住宅再建についてめどが立たない	73	16.3%	7	8.0%	9	22.5%	7	31.8%	96	16.1%
	無回答	54		11		8		4		77	
	合計	502	100%	98	100%	48	100%	26	100%	674	100%

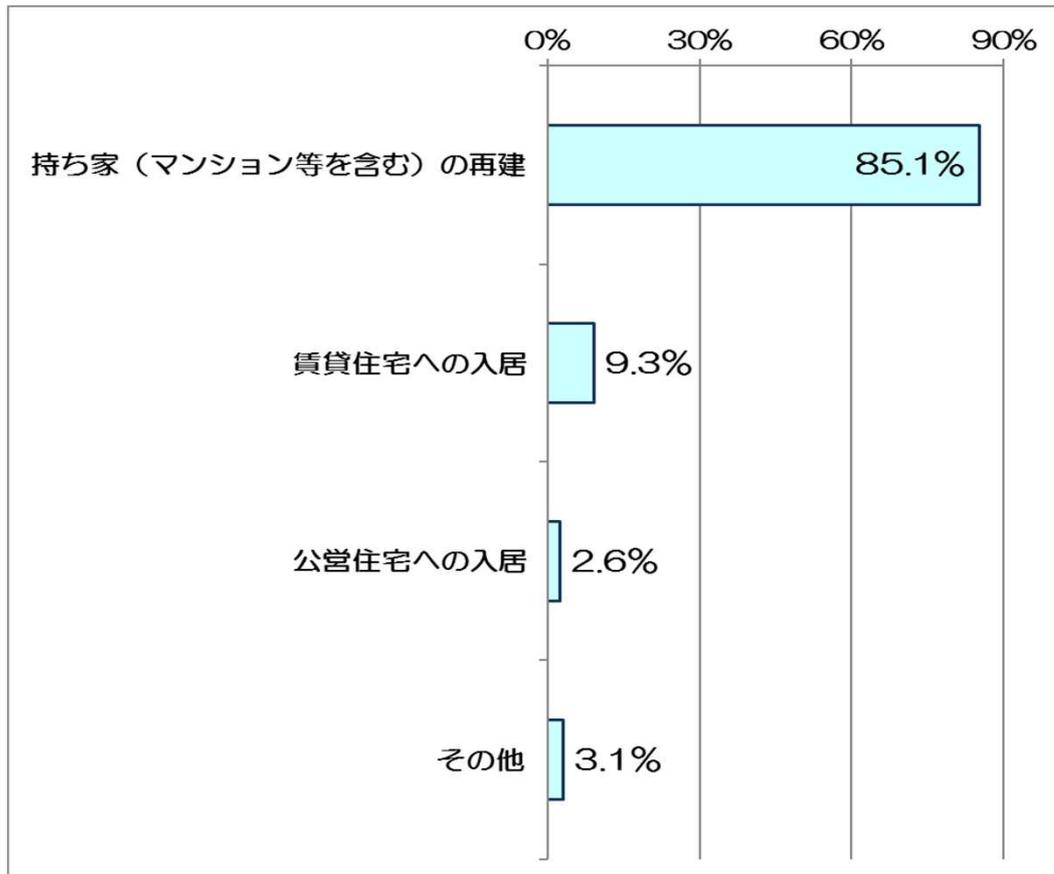
問21の無回答142件については、集計に含まれていない。



【集計分析】

問21において、「住居以外の土地を所有しているが、売却するつもりはない」と回答した世帯と「住居以外の土地を所有しており、可能であれば売却したい」回答した世帯の住宅再建の状況を比較してみると、「住居以外の土地を所有しており、可能であれば売却したい」と回答した世帯のうち22.5%が「住宅再建についてめどが立たない」と回答するなど、売却の意向がある世帯が、そうでない世帯と比較して住宅再建が行き詰っていることがうかがえる。

問 2 2 住宅再建で希望する居住形態は何ですか。（既に住宅再建が済んでいる場合は現在の居住形態）
【問 1 8 で「 6 」以外と回答した方にお尋ねします。】



グラフ中の割合は、無回答を除いた割合

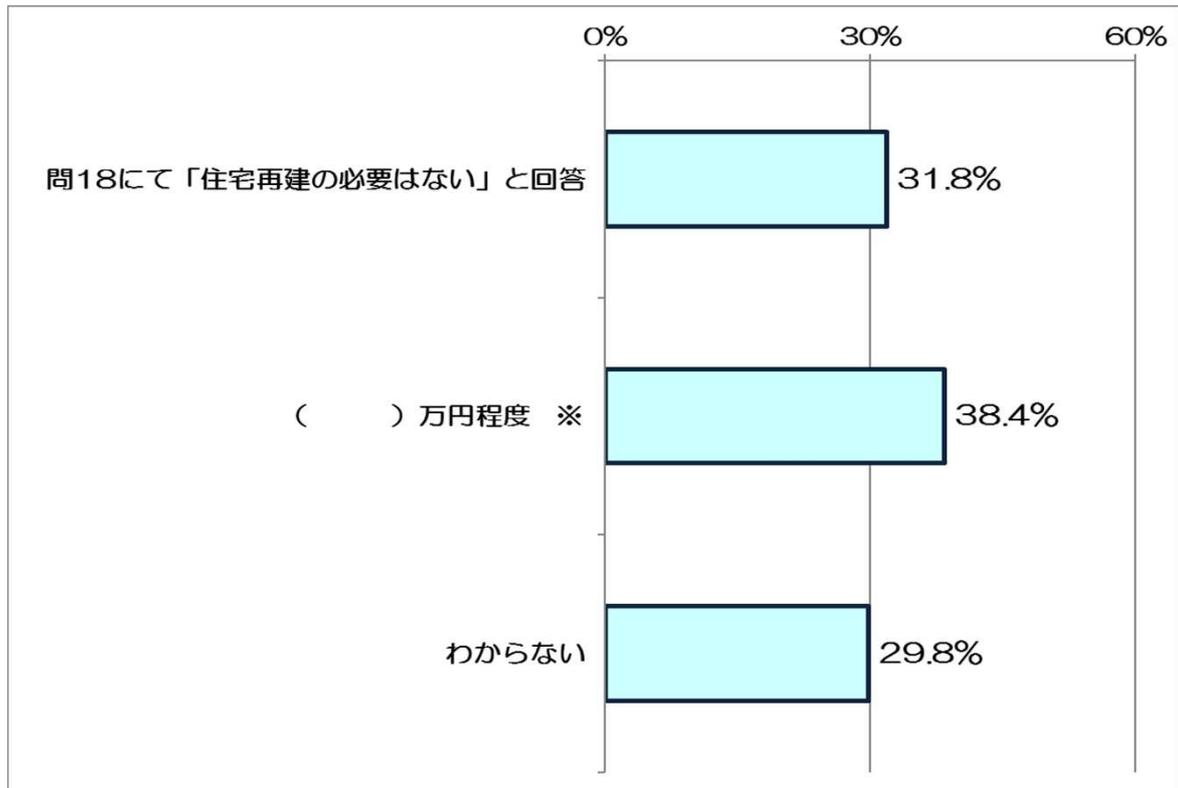
有効回答内訳（無回答あり）[問 1 8 で「 6 」以外と回答： 8 1 6 件]

No	選択肢	回答数	割合 (無回答含)	割合 (無回答除く)
1	持ち家（マンション等を含む）の再建	496	60.8%	85.1%
2	賃貸住宅への入居	54	6.6%	9.3%
3	公営住宅への入居	15	1.8%	2.6%
4	その他	18	2.2%	3.1%
	無回答	233	28.6%	
	合計	816	100%	100%

【集計分析】

「持ち家（マンション等を含む）の再建」が85.1%と最も高い割合となっているが、これは、本調査の問 7 における被災時に住んでいた住居に関する質問において、持ち家の割合が約85%を占めていることを考えると、住宅再建の居住形態も震災前と同様の居住形態を希望しているものと思われる。

問23 補修や建設・購入を行った方、または検討中の方にお尋ねします。補修や建設にかかった費用、もしくは見積もり費用はどれくらいですか。【問18で「6」以外と回答した方にお尋ねします。】



グラフ中の割合は、無回答を除いた割合

有効回答内訳（無回答あり）[問18で「6」以外と回答：816件]

No	選択肢	回答数	割合 (無回答含)	割合 (無回答除く)
	問18にて「住宅再建の必要はない」と回答	277	25.3%	31.8%
1	()万円程度	335	30.6%	38.4%
2	わからない	260	23.8%	29.8%
	無回答	221	20.2%	
	合計	1,093	100%	100%

「1」の回答数は実際に金額を記載した数である。なお、一部損壊世帯の1,000万円以上の回答はエラー値として除外した。

【集計分析】

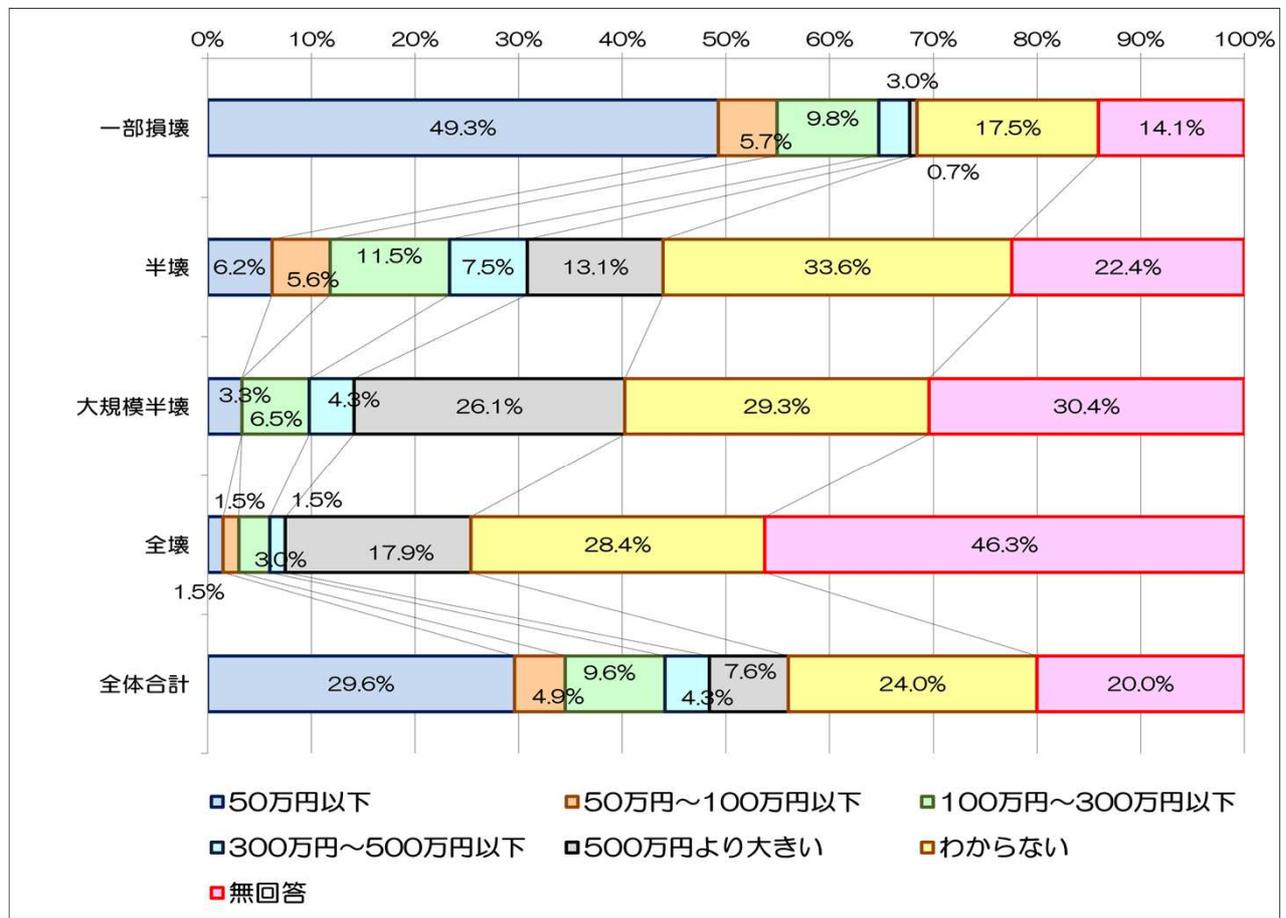
「わからない」の回答が29.8%を占め、未だ約3割の方が再建のための見積もりすら徴取できていない状況がうかがえる。

り災区分と住宅の再建費用には相関関係があると思われることから、り災区分と住宅再建費用のクロス集計を行った。

り災区分と補修、建設・購入費用の関係(問8、問23のクロス集計) 問18において「住宅再建の必要はなし」と回答した方を0円として集計した。

	一部損壊				半壊				大規模半壊				全壊				全体合計			
	回答数	割合(%)	割合(%)	割合(%)	回答数	割合(%)	割合(%)	割合(%)	回答数	割合(%)	割合(%)	割合(%)	回答数	割合(%)	割合(%)	割合(%)	回答数	割合(%)	割合(%)	割合(%)
50万円以下	296	72.0%	57.4%	49.3%	20	14.2%	8.0%	6.2%	3	8.1%	4.7%	3.3%	1	5.9%	2.8%	1.5%	320	52.8%	37.0%	29.6%
50万円～100万円以下	34	8.3%	6.6%	5.7%	18	12.8%	7.2%	5.6%	0	0.0%	0.0%	0.0%	1	5.9%	2.8%	1.5%	53	8.7%	6.1%	4.9%
100万円～300万円以下	59	14.4%	11.4%	9.8%	37	26.2%	14.9%	11.5%	6	16.2%	9.4%	6.5%	2	11.8%	5.6%	3.0%	104	17.2%	12.0%	9.6%
300万円～500万円以下	18	4.4%	3.5%	3.0%	24	17.0%	9.6%	7.5%	4	10.8%	6.3%	4.3%	1	5.9%	2.8%	1.5%	47	7.8%	5.4%	4.3%
500万円より大きい	4	1.0%	0.8%	0.7%	42	29.8%	16.9%	13.1%	24	64.9%	37.5%	26.1%	12	70.6%	33.3%	17.9%	82	13.5%	9.5%	7.6%
わからない	105	/	20.3%	17.5%	108	/	43.4%	33.6%	27	/	42.2%	29.3%	19	/	52.8%	28.4%	259	/	29.9%	24.0%
無回答	85	/	/	14.1%	72	/	/	22.4%	28	/	/	30.4%	31	/	/	46.3%	216	/	/	20.0%
合計(～)	411	100%	/	/	141	100%	/	/	37	100%	/	/	17	100%	/	/	606	100%	/	/
合計(～)	516	/	100%	/	249	/	100%	/	64	/	100%	/	36	/	100%	/	865	/	100%	/
合計(～)	601	/	/	100%	321	/	/	100%	92	/	/	100%	67	/	/	100%	1,081	/	/	100%
平均金額(万円)	68				842				1,784				1,219				385			

問8の無回答12件については、集計に含まれていない。

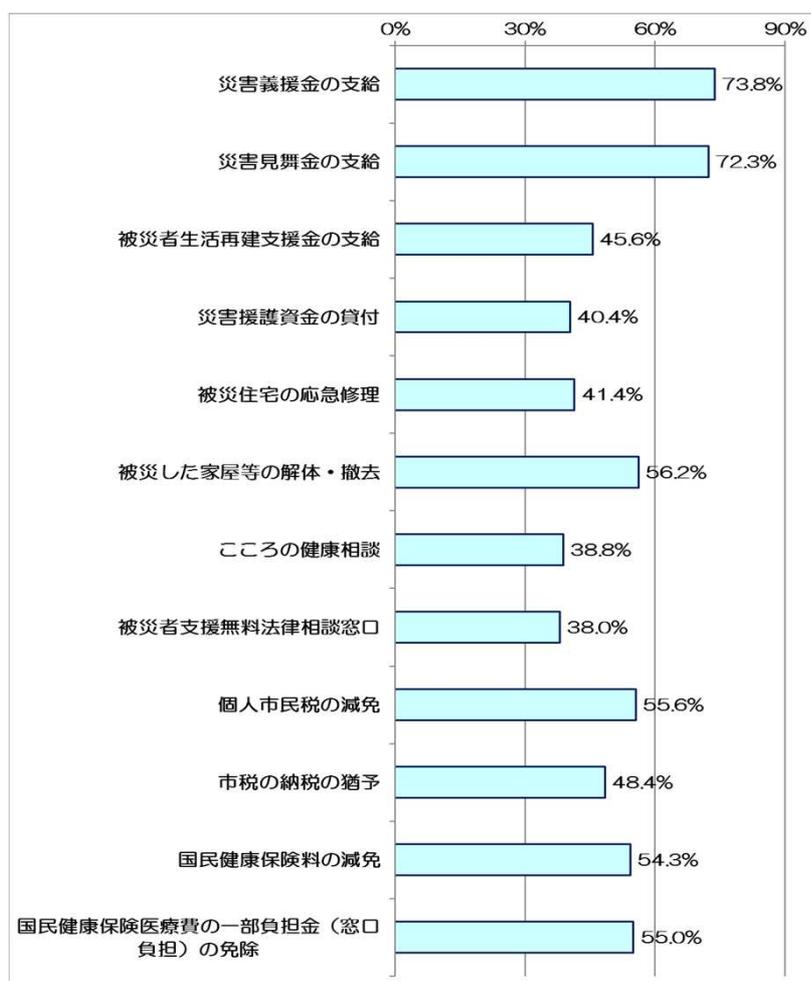


【集計分析】

住宅再建にかかる費用の平均額は、被害の程度が大きくなるほど高くなっている。(全壊については、母数が小さい上に、無回答の割合が高かったため大規模半壊の平均額を下回っていると思われる。)
 また、100万円より大きいと回答した割合は、一部損壊13.5%、半壊32.1%、大規模半壊36.9%と被害の程度に比例している。
 ただし、一部損壊で500万円より大きいと回答した割合も0.7%ではあるが、回答があった。

公的支援制度の利用状況

問 2 4 下記の支援制度の中で、知っている支援制度は「知っている」欄に を記載してください。



【集計分析】

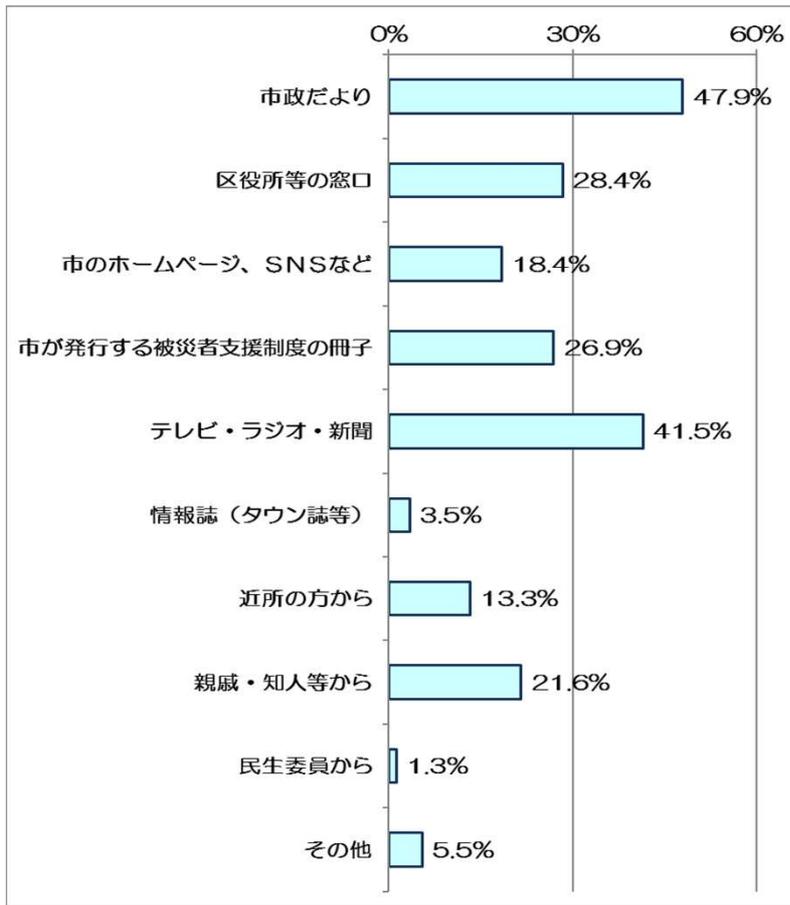
各支援の認知度については、「災害義援金の支給」が73.8%と最も高く、「災害見舞金の支給72.3%）、「被災した家屋等の解体・撤去」（56.2%）と続いている。

その他の支援制度については、認知度が高くても5割程度であるなど低く、今後更に周知に努めることが必要である。

有効回答内訳（無回答あり）

選択肢	回答数 (知っている)	「知っている」割合
災害義援金の支給	807	73.8%
災害見舞金の支給	790	72.3%
被災者生活再建支援金の支給	498	45.6%
災害援護資金の貸付	442	40.4%
被災住宅の応急修理	452	41.4%
被災した家屋等の解体・撤去	614	56.2%
こころの健康相談	424	38.8%
被災者支援無料法律相談窓口	415	38.0%
個人市民税の減免	608	55.6%
市税の納税の猶予	529	48.4%
国民健康保険料の減免	594	54.3%
国民健康保険医療費の一部負担金（窓口負担）の免除	601	55.0%
回答数合計	6,774	
回答者数	1,093	

問 2 5 上記の支援制度については、どのようにして知りましたか。（複数回答可）



【「その他」主な意見】

「よく知らない」、「支援制度全体的によく理解していない」などの認知度が低いとする意見：11件

「マンションの管理組合」：10件

「会社の情報」、「高校の案内」などの会社や学校からの情報：12件

「医院窓口」、「調剤薬局」などの医療機関窓口：4件

「避難所」：2件

その他、「インターネット」や「窓口への電話」との意見があった。

グラフ中の割合は、無回答を除いた割合

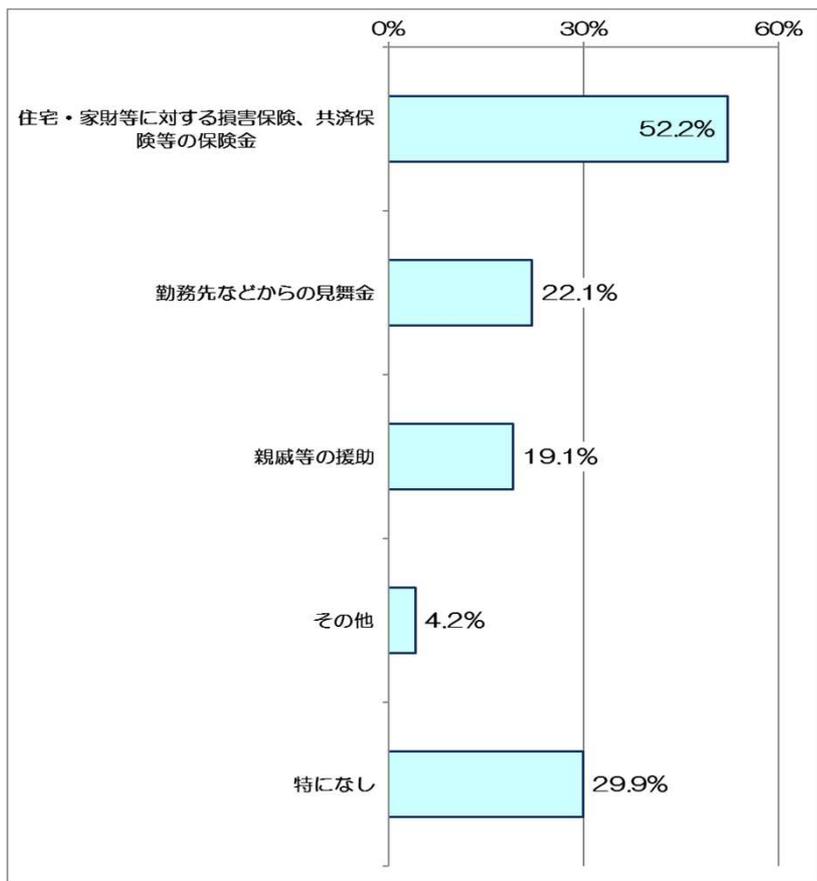
有効回答内訳（無回答あり）

No	選択肢	回答数	割合 (無回答含)	割合 (無回答除く)
1	市政だより	454	41.5%	47.9%
2	区役所等の窓口	269	24.6%	28.4%
3	市のホームページ、SNSなど	174	15.9%	18.4%
4	市が発行する被災者支援制度の冊子	255	23.3%	26.9%
5	テレビ・ラジオ・新聞	393	36.0%	41.5%
6	情報誌（タウン誌等）	33	3.0%	3.5%
7	近所の方から	126	11.5%	13.3%
8	親戚・知人等から	205	18.8%	21.6%
9	民生委員から	12	1.1%	1.3%
10	その他	52	4.8%	5.5%
	無回答	146	13.4%	
	回答数合計	2,119		
	回答者数	1,093		

【集計分析】

「市政だより」の回答割合が47.9%と最も高く、これに「テレビ・ラジオ・新聞」（41.5%）、「区役所等の窓口」（28.4%）と続いている。

問 2 6 公的な支援以外の支援等がありましたか。(複数回答可)



【「その他」主な意見】

「友人からの見舞金」、「友人からの物資援助」など友人からの金銭的、物的援助：15件

「高校の模試受験無料」：2件

その他、「マンション管理組合から物資援助」、「宗派本山からの援助」、「子ども所属の少林寺の団体から」、「ボランティア(キリスト教会)」などの意見があった。

グラフ中の割合は、無回答を除いた割合

有効回答内訳(無回答あり)

No	選択肢	回答数	割合 (無回答含)	割合 (無回答除く)
1	住宅・家財等に対する損害保険、共済保険等の保険金	542	49.6%	52.2%
2	勤務先などからの見舞金	229	21.0%	22.1%
3	親戚等の援助	198	18.1%	19.1%
4	その他	44	4.0%	4.2%
5	特になし	310	28.4%	29.9%
	無回答	55	5.0%	
	回答数合計	1,378		
	回答者数	1,093		

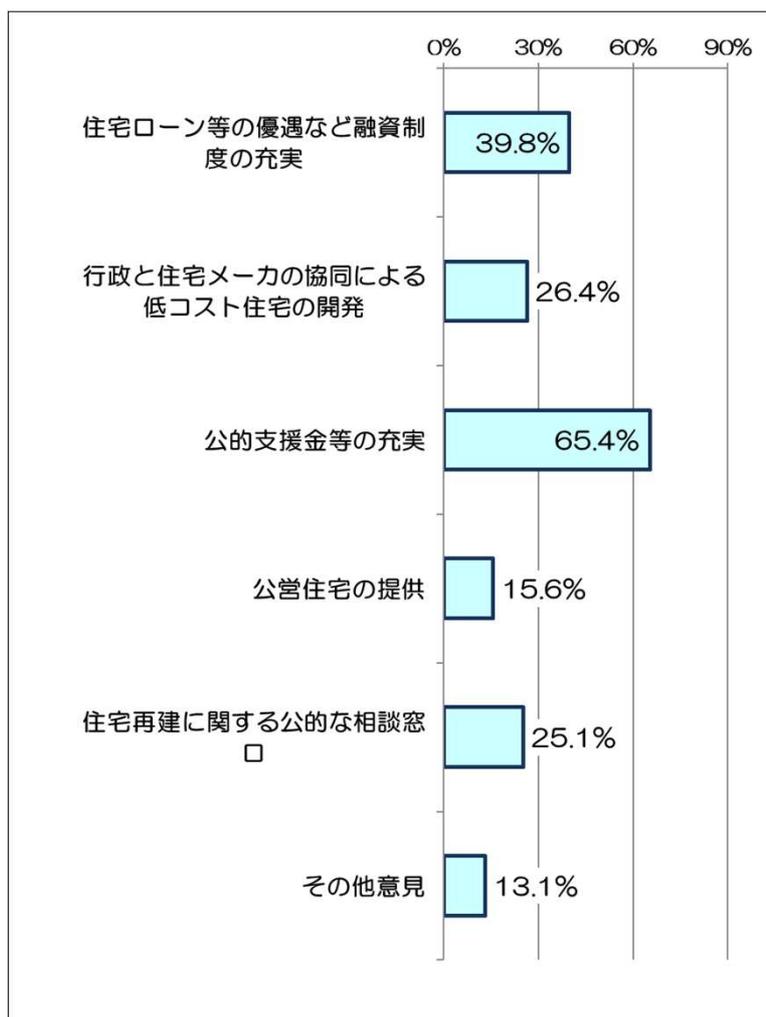
【集計分析】

「住宅・家財等に対する損害保険、共済保険等の保険金」の回答割合が52.2%と最も高く、これに「特になし」(29.9%)、「勤務先などからの見舞金」(22.1%)と続いている。

また、「親戚等の援助」の回答割合も19.1%と高く、血縁関係による相互扶助があっいることがうかがえる。

今後必要な支援について

問27 住宅の再建に必要な支援は何ですか。（複数回答可）



グラフ中の割合は、無回答を除いた割合

【「その他」主な意見】

一部損壊への支援を求める意見：22件

「みなし住宅の延長」、「中古物件の供給」など住居に関する支援：7件

「補修等行いたい、資金不足で出来ないで困っている。」、「補修費に預金を使ってしまい、今後の生活が不安」など経済的支援を求める意見：5件

「早く修理してほしい」、「家の沈下、傾きの修理の公的支援」など修理に関する支援：5件

「平均的な費用の公開」、「屋根や壁等の業者紹介」など修理業者の情報提供や照会に関する意見：5件

「地盤調査」、「家の補修が必要かどうか点検支援」、「定期的な見回り」など調査に関する支援：4件

「住宅再建計画済みの家の公費解体を早めにやってほしい。」など早期解体の意見：4件

その他、「工事業者不足の早期解消」、「宅地やよう壁への支援」、「二重ローン軽減措置」、「損害認定を早急にしてほしい」、「学費免除等の措置」、「申請受付体制拡充」、「り災証明書発行のスピード化」、「生活再建支援金の加算申請期限を延ばしてほしい。」などの意見があった。

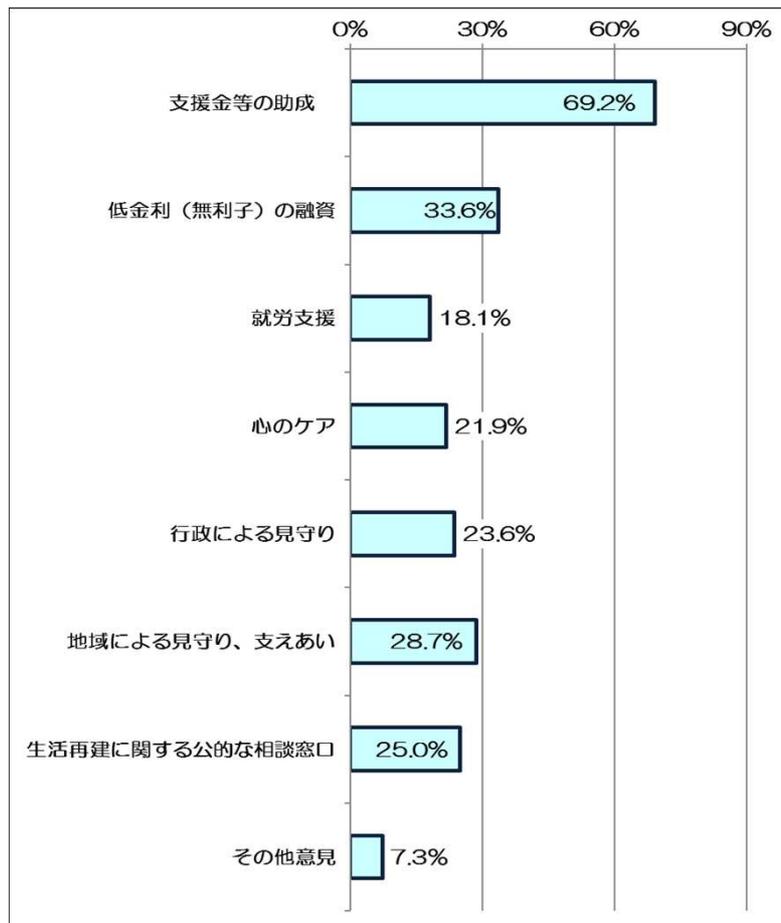
有効回答内訳（無回答あり）

No	選択肢	回答数	割合 (無回答含)	割合 (無回答除く)
1	住宅ローン等の優遇など融資制度の充実	303	27.7%	39.8%
2	行政と住宅メーカーの協同による低コスト住宅の開発	201	18.4%	26.4%
3	公的支援金等の充実	498	45.6%	65.4%
4	公営住宅の提供	119	10.9%	15.6%
5	住宅再建に関する公的な相談窓口	191	17.5%	25.1%
6	その他意見	100	9.1%	13.1%
	無回答	331	30.3%	
	回答数合計	1,743		
	回答者数	1,093		

【集計分析】

「公的支援金等の充実」の回答割合が、65.4%と最も高く、これに「住宅ローン等の優遇など融資制度の充実」（39.8%）、「行政と住宅メーカーの協同による低コスト住宅の開発」（26.4%）と続いている。

問28 住宅再建以外で震災以前の生活に戻るのに必要な支援や対応は何ですか。（複数回答可）



グラフ中の割合は、無回答を除いた割合

【「その他」主な意見】

「お金が無く、修理不可能」、「高齢者で借金したくてもできない」などの経済的な支援への意見：6件

「行政からの支援の周知」、「メディアを利用しての定期的な情報発信」など制度周知への意見：5件

一部損壊への支援：4件

道路の補修・整備に関する意見：2件

就労支援に関する意見：2件

「修理が早く出来ればいい」、「県外から職人を集め早期の住宅修復」など住宅修復への意見：2件

その他、「保育園代を安くしてほしい」、「低金利融資」、「修理見積額の妥当性相談」、「良心的な金額の住宅メーカーの紹介」、「補修工事期間の延長」、「医療費減免の期間延長」、「高齢者向けの再建支援」などの意見があった。

有効回答内訳（無回答あり）

No	選択肢	回答数	割合 (無回答含)	割合 (無回答除く)
1	支援金等の助成	562	51.4%	69.2%
2	低金利（無利子）の融資	273	25.0%	33.6%
3	就労支援	147	13.4%	18.1%
4	心のケア	178	16.3%	21.9%
5	行政による見守り	192	17.6%	23.6%
6	地域による見守り、支えあい	233	21.3%	28.7%
7	生活再建に関する公的な相談窓口	203	18.6%	25.0%
8	その他意見	59	5.4%	7.3%
	無回答	281	25.7%	
	回答数合計	2,128		
	回答者数	1,093		

【集計分析】

「支援金等の助成」の回答割合が、69.2%と最も高く、これに「低金利（無利子）の融資」（33.6%）、「地域による見守り、支えあい」（28.7%）と続いている。

その他自由意見

生活再建・住宅再建について、ご自由にお書きください。

【一部損壊世帯への支援関連：109件】

- ・一部損壊にも義援金配分、公的な支援金の支給、減税などの支援を要望。
- ・一部損壊では義援金もなく、損壊箇所の修理には数百万円の費用が必要。
年金だけの収入では金融機関からの借入れも断念。何らかの支援がほしい。

【業者不足や工事金額の高騰、業者の紹介や情報提供関連：36件】

- ・住宅復旧に業者不足で時間がかかりすぎる。
- ・業者不足で県外からの工業者が多く、工事費が高い。
- ・業者の見積りが妥当か不明で心配。
- ・業者（対応してくれる）がわからないため、紹介してほしい。

【支援制度の拡充関連：36件】

- ・義援金の追加配分 / 公的支援の増額
- ・この一年間でよいので、市県民税を全ての県民に免除してほしい。
- ・固定資産税の免除及び減免の措置を求める。
- ・住宅ローンの返済と避難している賃貸マンション代があり困っている。家賃の補助をお願いしたい。
- ・宅地に対する補償。液状化の場合、住居建築並みに補償金がほしい。

【補修等による経済的な不安関連：28件】

- ・住宅再建については、資金的に全体の40%程度しかできない。
融資制度はあるが72歳で返済を考えると踏み切れない。
- ・家の内外壁の小さなヒビ割れ等の修理費は地震保険が支給されない為、費用不足で修理が出来ない。
- ・再建するにも資金面で不安。
- ・住宅ローンを抱えたまま、さらなる融資を考えると先行きが不安。教育費の負担もあり厳しい状況。

【支援制度等の情報周知関連：25件】

- ・支援等の情報をもっとわかりやすくしてほしい。
- ・り災後、当分の期間、どのような支援があるのか情報が全く入手できなかった。
- ・被災住宅応急修理制度をわかりやすく説明がほしい。図などで詳しく。
- ・高齢者への情報伝達及び行動支援の充実。
- ・自然災害による被災者の債務整理に関するガイドラインに基づいて債務整理について知らせるべき。

【り災証明の判定や発行関連：19件】

- ・り災判定について、同程度の被災がある別のマンションと、判定に差異が生じている。
- ・宅地やよう壁の被害もり災証明の対象に入れてほしい。
- ・住宅損害の判定基準が粗すぎる。 / り災区分の判定に一貫性がなく非常に不満。

【住宅再建関連：17件】

- ・西区には仮設住宅も無く、みなし仮設のアパートも少なく、団地も満員なので、行くところがない。
市営住宅を新しく建ててほしい。
- ・仮設期間の延長や安価での災害復興住宅などの支援。
- ・住宅再建に無利子の融資、低コスト住宅があれば、建て替えたい。
- ・仮設住宅を使用後、被災者に安く売って、その人の土地に建てる。

【手続きの簡素化・支給等の迅速な対応関連：14件】

- ・各支援策にスピード感があればと思う。
- ・一度の手続きである程度の申請が終わるように簡略化してほしい。

【相談窓口での対応や体制強化関連：10件】

- ・市役所窓口での手続きのスピードアップと簡素化、待ち時間が長い。
- ・支援窓口等の充実 / 自立へ向けての継続した相談やアドバイスが受けられること。
- ・不動産や大家が修理・修復してくれない場合はどこに相談したらいいか。

【再建への見通しが見つからない意見：10件】

- ・生活再建・住宅再建のプランできていない。 / 全くめどがたっていない。

【高齢者・要介護者への配慮や支援関連：9件】

- ・母子家庭の生活再建は厳しい。
- ・高齢者、一人暮らし、障害者、要介護の人たちが、安心して暮らせる環境整備が必要。
- ・高齢者が逃げるときに負った怪我に公的な対策がほしい。

【応急修理制度等を含めた補修関連：9件】

- ・雨漏りで、床、壁もかびだらけで、直すところばかりで大変。
- ・応急修理は直接支給にして欲しい。
- ・個人で材料を買って修理していると応急修理の費用が受けられないのは問題があると思います。

【住居の解体関連：8件】

- ・一刻も早い公費解体をお願いする。
- ・一部の部屋を残すことで解体費用が出ないので困っている。

【道路等の補修関連：6件】

- ・主要道路や山間部の生活道路のできるだけ早い復旧をお願いしたい。
- ・道路の修復が進んでいないので、橋の端部など段差が大きく走行に危険。早急に補修してほしい。

【耐震化工事や耐震診断等への支援関連：6件】

- ・住宅の現在の耐久性を専門家に判断してほしい。
- ・家の耐震補強の公的支援を検討してほしい。
- ・耐震工事に補助金制度を設けてほしい。

【心のケア関連：6件】

- ・大人の心のケアも必要。
- ・被害の大きかった地域の人々が前を向いて歩き出せるよう、心のケアも含め、支援を続けてほしい。

【就労や経営関連：4件】

- ・仕事が出来なくなって困っている。
- ・会社が被害にあって営業はしているが、経営が厳しい。

【その他】

- ・普段からの防災意識の高さが必要不可欠。
- ・地域の防災クラブなどの活動を強化して助け合える環境づくり。避難所の増設。
- ・行政、地域による見守り、支えあいをもっと充実していればと思う。
- ・廃材など年末あたりに無料廃棄日があると助かる。
- ・被災して現状復旧として立て替えるので、厳しい建築確認上の審査は不要とお願いしたい。
- ・公衆浴場が無料で助かった。
- ・デイケア介護料免除助かっている。
- ・地震保険の補償割合（金額）の増加。
- ・車の被害にも保障をお願いしたい。
- ・賃貸住宅で大家さんに補修を要求しても行ってもらえないので、行政で動いてもらいたい。
- ・動物を連れて避難できる場所があれば避難がしやすいと思った。

